

平成 20 年 度

山梨県公立高等学校入学者選抜

「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」

山梨県教育委員会

【本冊子について】

山梨県教育委員会では、新しい学科や新しいタイプの高校の開設をはじめ、各学校における特色づくりなど、生徒にとって魅力ある高校への改革を進めています。

平成19年度の入試から、普通高校の通学区域をなくすとともに、総合選抜制度を廃止し、今までの推薦入試を前期募集、一般入試を後期募集として、前期募集に、希望する誰もが受検できる「自己推薦」を導入しました。このことにより、生徒の皆さんは、受検機会が増えるとともに、希望する高校を自ら選んでチャレンジできるようになりました。

この冊子は、平成20年度の入試の概要と各高校が事前に示す「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」を取りまとめたもので、公立高校に入学を希望する皆さんが、自分に合った高校を選んだり、将来の進路について考えたりするときに活用していただくためのものです。

※山梨県教育委員会ホームページでも情報を提供しています。

アドレス

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/koukoukyo/index.html>

目 次

I 平成20年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項	1
・用語解説	6
II 各高等学校の教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法	
・北 杜 (普通科、理数科、総合学科)	7
・韮 崎 (普通科、文理科)	9
・韮 崎 工 業 (電子機械科、電気科、情報技術科、環境化学科、理数工学科、システム工学科)	11
・甲 府 第 一 (普通科、英語科)	13
・甲 府 西 (普通科)	15
・甲 府 南 (普通科、理数科)	17
・甲 府 東 (普通科)	19
・甲 府 工 業 (機械科、電気科、建築科、土木科、電子科)	21
・甲 府 城 西 (総合学科)	23
・甲 府 昭 和 (普通科)	25
・農 林 (システム園芸科、森林科学科、環境土木科、造園緑地科、食品科学科)	27
・巨 摩 (普通科)	29
・白 根 (普通科)	31
・増 穂 商 業 (商業科、情報処理科)	33
・市 川 (普通科、英語科)	35
・峡 南 (電子機械科、建築インテリア科、土木科、情報ビジネス科)	37
・身 延 (普通科、理数科)	39
・石 和 (普通科、国際教養科)	41
・山 梨 園 芸 (園芸科、農業土木科、食品化学科)	43
・日 川 (普通科)	45
・山 梨 (普通科)	47
・塩 山 (普通科、商業科、情報システム科、国際経済科)	49
・都 留 (普通科)	51
・上 野 原 (普通科、理数科)	53
・谷 村 工 業 (化学・デザイン科、機械システム科、建設科、電子情報科)	55
・ 桂 (普通科、文理科)	57
・吉 田 (普通科、理数科)	59
・富 士 北 稜 (総合学科)	61
・富 士 河 口 湖 (普通科)	63
・甲 府 商 業 (商業科、国際科、情報処理科)	65
・選抜方法等一覧の見方	67
・平成20年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧	68
・前期募集における独自様式一覧	70
・平成19年度山梨県公立高等学校学校説明会等一覧	71
III 公立高等学校一覧	72

平成20年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について

(大月短期大学附属高等学校及び甲陵高等学校を除く。)

第1 全日制の課程における前期募集

1 募集人員

前期募集の募集人員は、募集定員のうち、次の(1)から(4)のそれぞれの範囲の中から各高等学校長が決定した比率をもとに、教育委員会が定める。

- (1) 全日制普通科（コース及び単位制を含む。）については、募集定員の10%から30%の範囲（コースの指定については、普通科の率と同じとする。）
- (2) 理数科、英語科、文理科及び国際教養科（以下「専門教育学科」という。）については、募集定員の20%から40%の範囲
- (3) 職業に関する学科については、募集定員の30%から50%の範囲
- (4) 総合学科については、募集定員の20%から40%の範囲

2 出願資格

前期募集に出願できる者は、次の条件をいずれも満たす者とする。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校又は中等教育学校の前期課程を平成20年3月卒業又は修了見込みの者
- (2) 当該高等学校を志望する動機や理由が明白・適切であり、各高等学校が定める「出願の条件」に適合すると自ら考える者

3 出願の制限

出願は、1人1校、1学科に限る。

4 出願期間

平成20年1月10日(木)から1月15日(火)の午前9時から午後4時まで

(1月12日(土)、1月13日(日)及び1月14日(月)を除く。1月15日(火)は、午前9時から正午まで)

5 検 査

(1) 検査方法

面接のほか、各高等学校長が必要と認める場合は、作文、特技、個性表現のいずれか（複数可）を併せて実施する。

(2) 検査期日

平成20年1月23日(水)、24日(木)

(志願者の状況によっては、1月25日(金)を含めて3日間とすることができる。)

6 選抜方法

各高等学校が定める「選抜資料比重」に基づき、調査書の記録、面接の結果及び各高等学校長が定める検査の成績を総合判定し、選抜する。

7 入学許可予定者の内定

各高等学校長は、平成20年2月1日(金)午前9時から正午までの間に中学校長に前期募集選抜結果内定通知書を交付する。

(中学校長が事前に郵便等による交付の依頼をした場合には、郵便等により交付する。)

8 入学許可予定者の発表

全日制の課程における後期募集の入学許可予定者と併せて行う。

第2 全日制の課程における後期募集

1 募集人員

後期募集の募集人員は、募集定員から前期募集の入学許可予定者として内定された者の数を減じた数をもとに、教育委員会が定める。

2 出願資格

後期募集に出願できる者は、次の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校又は中等教育学校の前期課程を卒業若しくは修了した者又は平成20年3月卒業若しくは修了見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は平成20年3月修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成20年3月修了見込みの者
- (4) 中学校を卒業した者と同等以上の学力を有する者として文部科学大臣の指定した者
- (5) 保護者が就学させる義務を猶予又は免除された子女等で、文部科学大臣が別に定めるところにより、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (6) その他高等学校において、中学校を卒業又は修了した者と同等以上の学力があると認めた者

3 出願の制限

- (1) 出願は、1人1校とする。
- (2) 前期募集の入学許可予定者として内定された者は、後期募集に出願することはできない。
- (3) 全日制及び定時制の両課程を併願することはできない。
- (4) 高等学校に普通科、専門教育学科又は総合学科が設置されている場合、志願する学科のほかに当該高等学校に設置されている学科（普通科、専門教育学科、総合学科に限る。）に第2希望まで志望順位を付けることができる。
- (5) 高等学校に職業に関する2つ以上の小学科・コースがあり、小学科・コース別に募集を実施している場合、職業に関する学科を志願する者は、その小学科・コースに第2希望まで志望順位を付けることができる。

4 出願期間

平成20年2月18日(月)から2月20日(水)の午前9時から午後4時まで
(2月20日(水)は午前9時から正午まで)

5 学力検査

- (1) 検査教科及び配点
 - ア 検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語（リスニング検査を含む。）の5教科とする。
 - イ 配点は、各検査教科100点とする。ただし、専門教育学科及び普通科のコース指定については、検査教科の配点を変えて行うことがある。
- (2) 検査期日
平成20年3月5日(水)
- (3) 検査時間
国語は55分とし、社会、数学、理科及び英語は各45分とする。

6 選抜方法

- (1) 調査書の記録及び学力検査の成績を総合判定し、選抜する。
- (2) 判定に当たっては、調査書の記録と学力検査の成績を同等に扱う。

7 入学許可予定者の発表

平成20年3月12日(水)の午前11時

第3 全日制の課程における再募集

1 実施校

前期募集及び後期募集の結果、高等学校において、入学許可予定者が学科又は職業に関するコースの募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。

2 出願資格

再募集に出願できる者は、学力検査受検者（病気等やむを得ない理由により学力検査を受検することができなかったと志願先高等学校長が認める者を含む。）で、出願時に、国・公・私立のいずれの高等学校にも合格していない者とする。

3 出願の制限

全日制の課程における後期募集に準ずる。

4 出願期間

平成20年3月12日(水)の午後1時から午後4時まで、3月13日(木)の午前9時から午後4時まで及び3月14日(金)の午前9時から正午まで

5 検 査

(1) 検査方法

面接のほか、作文又は新たに行う学力検査を実施する。

(2) 検査期日

平成20年3月17日(月)

6 選抜方法

学力検査の成績及び調査書の記録と併せて、再募集に当たって実施する面接の結果及び作文又は新たに行う学力検査の成績を総合判定し、選抜する。

7 入学許可予定者の発表

平成20年3月19日(水)の午前11時

第4 定時制の課程における入学者選抜

1 出願資格

全日制の課程における後期募集に準ずる。

2 出願の制限

全日制の課程における後期募集に準ずる。

3 出願期間

平成20年2月18日(月)から2月20日(水)の午前9時から午後4時まで
(2月20日(水)は午前9時から正午まで)

4 検 査

(1) 検査方法

学力検査及び面接を実施する。

(2) 学力検査の検査教科及び配点

ア 検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語（リスニング検査を含む。）の5教科とする。

イ 配点は、各検査教科100点とする。

(3) 検査期日

平成20年3月5日(水)、6日(木)

(4) 検査時間

国語は55分とし、社会、数学、理科及び英語は各45分とする。

5 選抜方法

調査書の記録、学力検査の成績及び面接の結果を総合判定し、選抜する。

6 入学許可予定者の発表

平成20年3月12日(水)の午前11時

第5 定時制の課程における再募集

1 実施校

定時制の課程を設置する高等学校で、入学者選抜の結果、入学許可予定者が学科の募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。

2 出願資格

全日制の課程における後期募集に準ずる。

3 出願の制限

全日制の課程における後期募集に準ずる。

4 出願期間

平成20年3月14日(金)から3月21日(金)の午前9時から午後4時まで

(3月15日(土)、3月16日(日)及び3月20日(木)を除く。3月21日(金)は午前9時から正午まで)

5 検 査

(1) 検査方法

再募集に当たっての学力検査及び面接を実施する。

(2) 学力検査の検査教科

検査教科は国語、数学及び英語の3教科とする。

(3) 検査期日

平成20年3月24日(月)

6 選抜方法

調査書の記録、再募集に当たっての学力検査の成績及び面接の結果を総合判定し、選抜する。

7 入学許可予定者の発表

平成20年3月26日(水)の午前11時

第6 実施要項

詳細については、別に定める「平成20年度山梨県公立高等学校等入学者選抜実施要項」による。

平成20年度公立高等学校入学者選抜日程(全日制・定時制課程)

1 月			2 月				3 月			
1	火	元旦	1	金	全日制前期募集内定	申 立 期 間	申 請 期 間	1	土	
2	水		2	土				2	日	
3	木		3	日				3	月	
4	金	県 外 ・ 全 日 制 前 期 募 集 期 間	4	月				4	火	
5	土		5	火				5	水	全日制後期募集検査・定時制検査
6	日		6	水				6	木	定時制検査
7	月		7	木				7	金	
8	火		8	金				8	土	
9	水		9	土				9	日	
10	木	全 日 制 前 期 募 集 出 願 期 間	10	日		10	月			
11	金		11	月	建国記念の日	11	火			
12	土		12	火		12	水	入学許可予定者発表		
13	日		13	水		13	木	全 日 制 再 募 集 出 願 期 間		
14	月		14	木		14	金			
15	火		15	金		15	土	定 時 制 再 募 集 出 願 期 間		
16	水	16	土		16	日				
17	木	帰 国 子 女 等 入 学 者 選 抜 申 立 期 間	17	日		17	月		全日制再募集検査	
18	金		18	月		18	火			
19	土		19	火		19	水		全日制再募集入学許可予定者発表	
20	日		20	水		20	木		春分の日	
21	月		21	木		21	金			
22	火		22	金		22	土			
23	水		全 日 制 前 期 募 集 検 査 (予備日)	23	土		23		日	
24	木			24	日		24	月	定時制再募集検査	
25	金			25	月		25	火		
26	土	26		火		26	水	定時制再募集入学許可予定者発表		
27	日	27		水		27	木			
28	月	28		木		28	金			
29	火	全 日 制 後 期 募 集 ・ 定 時 制	29	金		29	土			
30	水			30	日					
31	木			31	月					

用 語 解 説

○教育方針

各高校における学校経営の方針で、入学した生徒を3年間でどのような生徒に育てたいのかを示しています。

○志願してほしい生徒像

各高校がどのような生徒に入学してほしいのかを示したものです。自分に最も合う学校を選ぶための参考にしてください。

○前期募集の募集定員に対する募集率

各高校の募集定員に対して、前期募集で募集する割合を示したものです。
例えば、募集定員が240名の学校の場合、前期募集の募集率が30%とすると、 $240 \text{名} \times 30\% = 72 \text{名}$ を前期で募集することになります。
なお、県立高校の募集定員は11月上旬に発表する予定です。

○出願の条件

各高校が前期募集で志願してほしい生徒の条件として示すものです。内容をよく読んで、自分がどの条件に該当するのか、自分自身を振り返ってみてください。
その上で、中学校の担任の先生や保護者の方の意見を参考にしながら、出願する高校を選んでください。

○面接【全員実施】

前期募集志願者全員を対象に、志願先の高校で実施されるもので、前期募集における入学者として、ふさわしいかどうかを判定するために、中学校で取り組んだことや基礎的な学力などについて質問されることがあります。
実施形態としては、個別面接と数名で行う集団面接があり、受検者数によっては個別面接から集団面接に変更になる場合もあります。

○特技【選択実施】

中学校におけるがんばりや取り組みの成果について、公的に認められたものや客観的に証明することが可能な資格や成果の書類により審査されます。
この場合の書類とは、賞状や認定証などのコピーを添付する実績報告書、中学校長による実績証明書等を指します。

○個性表現【選択実施】

中学校におけるがんばりや取り組みの成果に基づき、学力検査では見いだせない個人の特性を評価するために実施するもので、自分の得意とする分野で個性を自由に表現します。楽器演奏や身体表現などの手段で自己の個性を表現することが可能です。
個性表現の例としては、リフティング、創作ダンス、スピーチ、研究発表、美術作品の披露などがあります。

山梨県立北杜高等学校

1. 教育方針等

教育目標

勉学に精励し、知性を磨くとともに創造性豊かな人間の育成を目指します。

また、自主・自立の精神を培い、個性の伸長を図るとともに心身を鍛え、豊かな人間性を育てます。

特 色

- 最新の施設・設備 自然豊かな環境
- 興味・関心・個性に応える3つの学科（総合学科・普通科・理数科）
学科を超えた幅広い科目選択 充実した学校行事（北嶺祭、フェスタ杜のきらめき）
- きめ細かな個別指導（習熟度別・少人数・選択授業、HR2人担任制等）高い学力伸び率 多彩な進路実現
- 特色ある部（ギター部、馬術部、レスリング部、ボクシング部、ゴルフ部、スキー部、スケート部）をはじめ40を超える部活動

目指す姿

- 学ぼうとする心を大切にした授業・活動で、一人ひとりの持つ可能性を高め、能力を最大限に伸ばします。
- 「共生」「共感」をベースにし、他を思いやる心を育て、自己指導能力を伸ばします。
- 地域の文化や自然と積極的にふれ合いながら、地域を愛し、地域に貢献できる人材を育てます。

2. 志願してほしい生徒像

本校を第一希望として、将来は地域や社会の発展に貢献できる人物となるために、次の本校全体および各学科の生徒像に該当する者。

本校全体の生徒像（3学科共通）

中学校生活において学習の基礎・基本、基本的な生活習慣を身につけており、体育的・文化的、生徒会等の諸活動において、優れた能力を有し、あるいは特筆すべき実績をあげ、入学後も諸活動に意欲的に取り組み、本校の活性化に貢献できる者。

総合学科

自己の生涯にわたる職業観を育み、幅広い科目選択により、自己を鍛え、将来の目標を定め、大学・短大・専門学校への進学や就職・起業を志す者。

普通科

大学・短大等への進学を目指し、自己の持つポテンシャル（潜在能力）を最大限に伸ばしたいと考えている者で、そのための強い意志を備え、豊かに感性を磨こうと志す者。

理数科

自分の可能性を信じ最良の結果を残すために教師と努力をともにできる心を持ち、人間的な成長と大学進学に耐えうる学力伸長を両立させ、将来社会に貢献する意志を持って大学進学を志す者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

総合学科	40%以内
普通科	30%以内
理数科	40%以内

(2) 出願の条件

必 ず	・基本的な生活習慣が身についている。
	・学習に対する興味、関心が高い。
	・志望の動機、理由が明確である。

ど れ か ひ と つ 以 上	A：学習活動が良好である。
	B：出席状況が良好である。
	C：特別活動、部活動、および校外活動（ボランティア活動等）で、特筆すべき実績や顕著な活動が認められる。
	D：各種資格等を有している。

志 願 す る 学 科 で ど ち ら か	総合学科	・将来のスペシャリストを目指して、専門分野に関係した資格・検定試験に積極的に取り組むことができる。
		・自分の適性を発見し、よりよい生き方や進路を考える学習に意欲的に取り組むことができる。
	普通科	・大学進学等、進路実現に向けての志をしっかりと持ち、潜在能力の開花にねばり強くチャレンジできる。
		・資格取得や検定合格を目指した科目選択やその学習に積極的に取り組むことができる。
	理数科	・学問における向上心を備え、知的探求心を伸ばして、学力の伸長にねばり強く取り組むことができる。
		・国公立大学・難関私立大学への合格を目指す。

(3) 面 接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
志望動機、興味・関心・意欲、多彩な能力、社会常識等を審査する。	集団面接	40分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容	
作 文	総合学科	：時間50分 ； 字数400字
	普通科・理数科	：時間50分 ； 字数600字

(5) 選抜資料比重

区 分	調査書	面 接	作 文
総合学科	30	40	30
普通科	30	30	40
理数科	30	30	40

*調査書の学習の記録は、第3学年のみを対象とする。

なお、普通科は、国語・社会・数学・理科・英語の評定を1.5倍とし、
理数科は、国語・社会・数学・理科・英語の評定を2倍とする。

4. そ の 他

強化指定部活動「スキー部」「スケート部」「レスリング部」「馬術部」（平成19年度）

山梨県立韮崎高等学校

1. 教育方針

『人間を育てる』

学業や生徒会活動(部活動・委員会活動)に努めることを通じて豊かでバランスのとれた人間性や社会性を培い、かつ心身の発達を図る。

2. 志願してほしい生徒像

普通科

次の1～3のすべてを満たすと同時に、4～6のいずれかに該当する者。

- 1 本校で学びたいという強い希望があり、高校生活で実現させたい夢や目標を持っている。
- 2 基礎的な学力と基本的な学習習慣を身につけている。
- 3 本校をより活力のある学校にしていくことができる資質を持っている。
- 4 高い学習意欲を持ち、努力を継続できる。
- 5 体育活動や文化活動において優れた能力と適性があり、それらをさらに向上させようとする強い意志を持っている。
- 6 生徒会活動や社会的活動に意欲があり、入学後も継続して取り組む意志を持っている。

文理科

次の1～3のすべてを満たすと同時に、4, 5のいずれかに該当する者。

- 1 本校で学びたいという強い希望があり、高校生活で実現させたい夢や目標を持っている。
- 2 中学校課程の学習内容と基本的な学習習慣を十分に身につけている。
- 3 しなやかな心とたくましい精神を持ち、状況に応じてリーダーシップをとることができる。
- 4 教科科目の学習に興味関心があり、入学後もより高い学習意欲と努力を継続できる。
- 5 将来、文系・理系の各専門分野において活躍しようとする強い意欲がある。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科	30%以内
文理科	40%以内

(2) 出願の条件

普通科

人物が良好で、かつ次の1～6のいずれかに該当すること

- 1 学習に関する興味関心が高く、志望の動機が明確である生徒。
- 2 体育活動について、以下のいずれかに当てはまる生徒。
 - ①団体種目については、県大会以上の大会においてベスト4以上の成績を収め、中心選手として活躍した生徒。個人種目については県大会以上の大会で4位以内となった生徒。
なお、山梨県小中学校体育連盟に加盟しない競技団体が主催する大会についても、対象とする。
※いずれの場合も大会の成績とエントリーを証明できるものを出願時に提出すること。
例：賞状・新聞記事等の写し、大会プログラム 等
 - ②上記に当てはまらないが、各種大会で中心選手として活躍した生徒。

- 3 文化活動において、県大会以上のコンクールまたは大会で優秀な成績を収めた生徒。
 なお、団体部門では中心となって活躍した生徒。

※大会の成績を証明できるものを出願時に提出すること。

例：賞状・新聞記事等の写し

- 4 生徒会本部役員として活躍した生徒。
 5 ボランティアなど社会的活動において顕著な実績を上げた生徒。
 6 実用英語検定や漢字検定において、3級以上の資格を有する生徒。

※資格証書の写しを出願時に提出すること。

文理科

人物が良好で、かつ次の1～3のいずれかに該当すること

- 1 学習活動が良好で国公立大学進学などの進路目標をしっかりと持ち、学習に対する高い意欲がある生徒。
 2 生徒会本部役員としてリーダー性を発揮した生徒。
 3 実用英語検定や漢字検定において、準2級以上の資格を有する生徒。

※資格証書の写しを出願時に提出すること。

補足事項：提出した書類については、調査書の特別活動等の審査において評価する。ただし提出書類はA4サイズとする。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態	検査時間
本校を志望する動機と、興味・関心、学習習慣、基礎基本の定着の確認、高校生活のビジョン、将来の希望などを確認。	個別面接	10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：600字

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文
普通科	40	30	30
文理科	40	30	30

※1 調査書の「学習の記録」については、第3学年を対象とする。

※2 調査書の評価における各教科の比重

普通科は国語、社会、数学、理科、英語を1.2倍とし、音楽、美術、保健体育、技術家庭を1.0倍とする。
 また、文理科は国語、数学、英語を3.0倍、社会、理科を2.0倍、音楽、美術、保健体育、技術家庭を1.0倍とする。

(6) その他

平成19年度学校説明会予定日：7月14日(土)

詳細は5月末頃、本校ホームページに掲載 URL <http://www.kai.ed.jp/niratakah/>

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）

サッカー（男子）、山岳（男子）、陸上（女子）、バレーボール（女子）、バスケットボール（女子）、新体操（女子）

山梨県立韮崎工業高等学校

1. 教育方針

本校の教育理念は「総合的に技術を学ぶ」ことであり、教育目標は「拓かれゆく未来科学に対応できる知識・技術および心をもった自律的・創造的・実践的産業人の育成」であります。すなわち本校で目指しているのは、「ものづくりのセンス」を磨く教育の充実であり、新しい価値を生み出すものづくりの技術・技能を高めることです。

(1) 社会に貢献し得る工業技術を習得させる

工業に関する基礎・基本となる知識と技術を総合的に身に付け、創造力と実践力を養い、次代を担う工業スペシャリストとなる礎を築かせる。

(2) 真理と道徳を愛する心を涵養する。

人間としての基本的な倫理観や規範意識を体得させ、社会人となるための自覚と責任感を育む。

(3) 心身の健康を保持し増進させる

自他の生命を尊重し、生涯にわたりスポーツと文化を愛好し、自ら進んで体力の向上と心を磨き、明朗で活力あふれる心身をつくる姿勢を養う。

本校では、全学科を一括で募集し、総合選択制等の教育体系を施行、6学科（6系列）を備えた総合的な工業の専門高校として、生徒の興味・関心、適性や将来の進路希望に即したフレキシブルな科目選択ができる新しい教育システムを整え、同時に工業の様々な分野の先端技術に触れ、新しい技術を複合的に身につける教育を展開します。さらに、工業高校としての専門性を追究し、各種資格取得指導の充実にも努めています。

2. 志願してほしい生徒像

本校の工業教育を学ぶために、必要な知識、科学的興味や関心、意欲、ねばり強さ等があり、次のいずれかに該当する者。

- (1) 基本的な生活習慣と基礎学力を有し、ものづくりや科学技術に興味・関心がある者
- (2) 数学・理科や科学技術分野などを得意とし、大学等への進学をめざす者
- (3) スポーツ、文化的活動、特別活動などに優れた成果をあげ、高校入学後も継続する意志のある者
- (4) 優れた個性や能力を有し、豊かな人間性が認められる者

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

全学科一括 40%以内

(2) 出願の条件

志望の動機・理由が明確で、将来の進路目標がしっかりしており、入学後も学習や部活動に積極的に取り組む意欲があり、かつ、以下のいずれかに該当する生徒。

- A 学習に対する興味・関心が高い生徒
- Bーア 体育・文化活動に興味・関心が高い生徒〔特技申請有〕
- Bーイ 体育・文化活動に興味・関心が高い生徒〔特技申請無〕
- Cーア 科学技術やものづくりに対する興味・関心が高い生徒〔特技申請有〕
- Cーイ 科学技術やものづくりに対する興味・関心が高い生徒〔特技申請無〕

D ボランティア活動や生徒会活動等に興味・関心が高い生徒

(3) 面接

実施のねらい	実施形態	検査時間
知識や思考、表現や意欲など、工業高校における学習活動をする上で必要な資質を持っているかを判定する。	個別面接 及び 集団面接	個別15分程度 集団10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	【受検者全員】 時間：30分 字数400字以内
特技	【出願条件B・Cのみ】 実績として提出された証明書等の書類審査
個性表現	【出願条件B・C・Dのみ】 5分程度の実技披露又は発表・表現を行う

※個性表現については、実績や技術より、実技や発表等に対する興味・関心・意欲等を重視して選抜する。

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現
条件A	50	30	20	—	—
条件B-ア	30	30	10	15	15
条件B-イ	30	30	10	—	30
条件C-ア	30	30	10	15	15
条件C-イ	30	30	10	—	30
条件D	30	30	10	—	30

※調査書の学習の記録については、第3学年の必修9教科を評価の対象とする。

※出願時に「A」、「B-ア」、「B-イ」、「C-ア」、「C-イ」、「D」のいずれかの出願条件を選択する。

(6) その他

提出書類

ア 特技又は個性表現受検申請書【「特技」、「個性表現」の受検申請者のみ】

- ・特技又は個性表現の分野又は種目
- ・実績又は実技や発表等の内容
- ・実技や発表等に必要な機材・用具等

イ 体育、文化活動等の実績を示す賞状・認定証（コピー可）など【「特技」の受検申請者のみ】

入手方法

上記アの書類は、本校で開催する入試説明会のおりに配付します。また本校のホームページからもダウンロードできます。電話等での依頼にも応じます。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）

レスリング（男子）

山梨県立甲府第一高等学校

1. 教育方針

知・徳・体のバランスのとれた人格の形成を目指し、県下随一の伝統を生かしつつ、国際社会や地域社会で活躍する有為な人材を育成する。

2. 志願してほしい生徒像

- ・本校の校是「Boys, be ambitious! (少年よ、大志を抱け!)」に共感し、その志の実現に向けて努力を惜しまない者。
- ・基本的な生活習慣が確立され、協調性に富む者。
- ・生徒会活動や部活動及びボランティア活動に積極的に取り組む者。
- ・卒業後は、国公立大学をはじめ大学進学を目指す者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

英語科 40%以内

(2) 出願の条件

普通科：次のA・Bのいずれかに該当する生徒。

A 「志願してほしい生徒像」を満たすと共に、中学校の学習成績が優秀で入学後も意欲的に学習に取り組む生徒。

B 「志願してほしい生徒像」を満たすと共に、中学校の学習成績が優秀で、スポーツ及び文化活動において、個人または団体の中心として県を代表するレベルの実績を持ち、入学後もその活動を継続しようとする意志をもつ生徒。

※ A・Bは、出願の際に願書に記入する。

英語科：「志願してほしい生徒像」を満たすと共に、英語をはじめとして、各教科において学習成績が特に優秀で、入学後も意欲的に学習に取り組む生徒。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
・本校の求める生徒としてふさわしいか ・必要な基礎学力を有しているか ・基本的な生活習慣が身に付いているか	個別面接	20分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：60分 字数：800字
特技	実績証明書による書類審査

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技
普通科条件A	70	20	10	—
普通科条件B	60	20	10	10
英語科	70	15	15	—

(6) その他

※調査書の取り扱いについて

- (1) 学習の記録については、第3学年の必須9教科の評定を対象とし、「国語・社会・数学・理科・英語」の5教科は2倍します。
- (2) 生徒会活動や部活動及びボランティア活動などの実績についても評価します。
- (3) 資格の取得についても評価します。

※普通科条件Bについては、出願の際に別途「普通科条件B記入用紙」を提出し、併せて実績を証明する書類の写しをA4版で添付してください。「普通科条件B記入用紙」は甲府第一高校のホームページからダウンロード出来ます。

4. その他

本校の強化指定部（平成19年度）

テニス（男子）、アーチェリー（男女）、山岳（女子）

山梨県立甲府西高等学校

1. 教育方針

「自己を知り 自己を深める」の校訓のもと、百余年にわたる伝統の上に、新たな飛躍を目指しています。

単位制普通科の特性を生かして、生徒諸君の自己実現をあと押しします。

- ① 県下唯一の65分授業、多様な選択科目、手厚い習熟度別・少人数授業により充実したきめ細かい指導を展開します。
- ② 放課後や土曜日あるいは長期休業中の課外講座、また「理数探究クラブ」の展開を通じて学力増進を図ります。
- ③ 進路講演会・ガイダンス、面談等を通じてひとりひとりの進路希望を実現します。
- ④ 多くの部活動や生徒会行事を用意し、生き生きとした学校生活を目指します。

2. 志願してほしい生徒像

学習意欲が旺盛であり、高い志を持ち自己実現に努める者。

中学校における学習や行動が優秀である者。

本校を志望する動機や目的が明確である者。

本校卒業後は大学に進学し、専門的知識を深めようとする者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

「志願してほしい生徒像」のすべての項目に該当し、さらに次のA、Bのいずれかに該当する者。

A、Bの区分は出願時に申告します。

A 中学校で優秀な成績を修めた者。

B 本校の学習に適應できる学力を持ち、スポーツ・文化等で個人又は団体の中心として山梨県を代表する実績を持ち、入学後もその活動を発展させようとする強い意欲のある者。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
志望動機、目的意識、意欲・関心、理解力、表現力、探究心等を見る。	個別面接 (ただし、出願者数により集団面接とすることがあります。)	15分程度 (集団面接の場合は、検査時間は30分程度です。)

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：60分程度 字数：800字以内 (条件Aで出願する場合のみ)
特技	実績証明書類による審査 (条件Bで出願する場合のみ)

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	備考
条件A	60	20	20	—	
条件B	40	30	—	30	6人程度

調査書の「各教科の学習の記録」に記載されている必修9教科の評定は、選抜において次のように取り扱います。

- ・1学年の評定、2学年の評定、3学年の評定の比は、1：1：2とします。
- ・国語・社会・数学・理科・英語の評定と音楽・美術・保健体育・技術家庭の評定の比は2：1とします。

(6) その他

条件Bで出願する場合は、スポーツ・文化等の特技についての実績を証明する書類を提出してください。実績証明書類は、原則として強化指定を行う団体が発行する認定書あるいは競技会やコンクールを主催する団体が授与する賞状の写しとします。

4. その他

本校の男子バスケットボール部は、平成19年度山梨県高等学校運動部強化指定を受けています。特色ある学校づくりの一環として今後も引き続き競技力強化に努めていく予定です。

山梨県立甲府南高等学校

1. 教育方針

将来、日本や国際社会の様々な分野で活躍し、社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。

《教育目標》

校訓『開拓者精神』のもと、

- 1 真理を求め、高き理想を掲げ、真摯に学ぶ生徒を育てる。
- 2 善なるものを求め、自他を敬愛し、品性を磨く生徒を育てる。
- 3 美しきものを愛し、心身を鍛練し、新たな自己を拓く生徒を育てる。

《学校の特色》

新しいもの、困難と思われるものに積極的にチャレンジしようとする気風にあふれており、普通科と理数科の生徒が互いに切磋琢磨し、学校全体として輝かしい進路実績を築いています。

部活動・生徒会活動・ボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、緑陽祭・歌声コンクール・南高音楽祭等の学校行事も盛りだくさんです。

スーパーサイエンスハイスクールとしての特色ある学校設定科目・公開講座・校外研修等も魅力です。

2. 志願してほしい生徒像

学習成績が優秀で、ひたむきに真理を追求する学究的な態度を持ち、自己の持つ能力やエネルギーを自らの利益や自己実現に向けるだけでなく、他人や社会のためにも生かそうとする姿勢を持った生徒で、次の両方あるいはいずれかに該当する者。

【普通科】

- 1 学問への知的好奇心が旺盛で、学習意欲も高く、粘り強く努力できる者。
- 2 学校内外の文化的・体育的・社会的な活動に積極的に参加し、充実した生活を創造しようとする者。

【理数科】

- 1 理数系の学習を通して、論理的・科学的思考力を身につけ、将来、これを生かせる分野の職業や学問研究に従事したい者。
- 2 学校内外の文化的・体育的・社会的な活動に積極的に参加し、充実した生活を創造しようとする者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

理数科 30%以内

(2) 出願の条件（普通科・理数科共通）

人物及び学習成績が優秀であるとともに、高い志と強い意志を持ってひたむきに努力できる者で、次のいずれかに該当する者。

条件1 自己の将来に具体的な目標を持ち、国語・社会・数学・理科・英語のいずれにおいても優秀な成績であるとともに、他の教科においても成績が良好である者。

条件2 国語・社会・数学・理科・英語のいずれにおいても優秀な成績であるとともに、生徒会活動、部活動及びボランティア活動等で顕著な実績があり、今後も積極的に継続していこうとする意志がある者。(本校所定の『活動実績報告書』等を提出する)

[実績の基準]

- ア 年間を通じて、生徒会役員の中心的存在(会長・副会長)として活躍している。
- イ 個人の部・団体の部において、志願者自身が、県レベル以上の大会やコンクール等に出場している。
- ウ 何らかのボランティア活動に継続的に参加し、その活動において中心的役割を果たしている。
- エ 全国レベルの技能・資格検定において、顕著な実績がある。
- オ 上記ア～エの基準とほぼ同レベルと客観的に判断できる実績がある。

(3) 面接(普通科・理数科共通)

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を志望する理由、人柄、学習意欲、将来の希望、中学校における基礎・基本の定着などを確認する。	個別面接 (ただし、志願者多数の場合は集団面接とする。)	10分程度 (集団面接の場合は20分程度)

(4) 本校で定める検査(普通科・理数科共通)

検査方法	検査内容
作文	時間：60分 字数：600字程度
特技	『活動実績報告書』及び添付書類の内容を点数化(条件2)

(5) 選抜資料比重(普通科・理数科共通)

区分	調査書	面接	作文	特技
条件1	70	15	15	—
条件2	60	15	15	10

※調査書の「学習の記録」は、第3学年の必修9教科の成績評定を対象とし、国語・社会・数学・理科・英語の評定は1.8倍する。

(6) その他

条件2の該当者として出願する者は、『活動実績報告書』に活動実績を証明できる書類1点〔賞状・感謝状、段級認定証、新聞記事、大会プログラム、メンバー表等で、自己の持つ最上位のもの〕のコピー(大きいものはA4サイズに縮小)を添付する。

なお、『活動実績報告書』は、本校事務室にて受け取るか、本校ホームページ内の「受験生の皆様へ」からダウンロードすることができる。

4. その他

19年度山梨県高等学校体育連盟強化指定運動部

剣道部男子、ソフトテニス部男子

山梨県立甲府東高等学校

1. 教育方針

本校では「自律」を校訓とし、心身ともに健康で、礼儀正しく、豊かな知性と高い志を持った人間の育成を目指している。そのため、温かな雰囲気の魅力ある学校づくりを推進するとともに、教育内容の精選や教育方法の工夫改善に取り組み、次の点を教育目標として掲げている。

- (1) 基礎・基本事項の確実な定着を図るとともに、学ぶ意欲を喚起し、思考力、判断力、表現力などの「確かな学力」を育てる。
- (2) 自他の生命や存在を尊重し、美しいものや崇高なものに感動し、大切に「豊かな心」を育てる。
- (3) 人間としての在り方、生き方についての考えを深め、高い志と自律の精神を持って自らの進路を切り拓き、社会に貢献しようとする人間を育てる。

2. 志願してほしい生徒像

- (1) 本校の教育方針を理解し、本校で充実した高校生活を送りたいと強く希望する生徒。
- (2) 将来に向けての高い志と強い学習意欲を持つ生徒。
- (3) 謙虚で礼儀正しく、あらゆることに努力する生徒。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

普通科

「志願してほしい生徒像」をふまえ、次の条件1～条件3のいずれかに該当する者。

条件1 中学校の学習活動において優れた成績を収め、将来の目標実現のため努力する者。

条件2 中学校において学習、部活動、特別活動などで地道な努力を重ね、高校に入学後も学習を中心に、部活動などにおいても自己を磨く努力をする者。

条件3 芸術・文化・体育の分野において、次に示す〈例〉と同程度の優れた実績を有する者。

〈例〉・本校部活動等に該当する芸術、文化の分野において、県大会以上の大会で3位以内の成績をあげた個人、または団体の中心として活躍した者。

・本校部活動等に該当する体育の分野において、「小中学校体育連盟」主催の県大会以上の大会で3位以内の成績をあげた個人、または団体の中心として活躍した者。

・生徒会活動において、正副会長を務め、顕著な功績をあげた者。

・上記に当てはまらないが、芸術、文化、体育等の各分野で、個人として卓越した能力を有し、それを証明できる資料等が提示できる者。

・英語検定準2級以上、または漢字検定2級以上の資格を有する者。

〈理数コース〉

「志願してほしい生徒像」をふまえ、次に該当する者。

すべての教科にわたって強い学習意欲を持つとともに、特に理数科目に興味・関心があり、将来、科学技術や医療の発展に貢献したいと思っている者。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
<ul style="list-style-type: none">・中学校における学習を基礎とした思考力、判断力、表現力などとともに、本校での高校生活に対する意欲などを確認する。・「志願理由書」の内容についても確認する。・中学校における基礎学力の到達状況の確認を含む。	個別面接 (ただし、志願者多数の場合は集団面接とする)	15分程度 (集団面接の場合は20分程度)

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	【検査対象：全員】 時間：50分 字数：600字
特技	【検査対象：条件3に該当する者】 書類審査（活動実績報告書、実績を証明する書類の写し等による）

(5) 選抜資料比重

普通科

区分	調査書	面接	作文	特技	備考
条件1	70	20	10	—	
条件2	50	40	10	—	
条件3	40	30	10	20	上限を前期募集人員（理数コースを除く）の10%程度とする。

※調査書の学習の記録については第3学年の必修9教科の成績評定を合計する。

〈理数コース〉

区分	調査書	面接	作文	特技
理数コース	60	30	10	—

※調査書の学習の記録については第3学年の必修9教科のうち、国語、社会、数学、理科、英語の評定を2.0倍し、その他の教科の評定を1.0倍した合計とする。

(6) その他

- ・出願条件3により出願する者は、「活動実績報告書」、および実績を証明する書類の写し等を出願時に提出してください。「活動実績報告書」は本校ホームページからダウンロードできます。
- ・理数コースを希望した者は理数コースの指定にもれた場合、普通科を希望することができません。

4. その他

- ・山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）
水泳（水球）部

山梨県立甲府工業高等学校

1. 教育方針

甲府工業高校は「質実剛健」を校訓とし、「技術者となる前に人間となれ」を信条として、新しい時代を主体的・創造的に生きる、人間性豊かな良識ある工業人を育成する。

山梨の産業を支える工業高校として、地元の大学や企業との連携を深め、本県の特徴ある産業を学び、社会に貢献できる将来のものづくりスペシャリストの育成を目指す。さらに、「専門教科の深化を図る教育」の実践、「工業系大学進学を目指した教育」の実践、及び「部活動の強化」を図り、全国トップレベルの工業高校を目指す。

(1) スペシャリストの育成

各科の目指す方針。

【機械科】設計・製図・加工・組立など機械技術を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。

【電気科】エネルギーや電気技術を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。

【電子科】コンピュータ制御やネットワーク通信などの先端技術を学習し、その知識を活かし、将来この分野で活躍できる人材を育成する。

【建築科】建築に関する設計・施工の技術・技能を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。

【土木科】道路・鉄道・トンネル・ダム・橋などの構造物を建設するための設計と測量を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。

(2) 自己実現を目指したキャリア教育

平成20年度入学生より、ものづくりスペシャリストの育成や国公立大学等への進学に対応した新しい教育課程を実施する。

<就職への対応>

甲府工業高校は、90年という長い歴史の中で、産業界に多くの人材を送り出している。就職活動においては、数多くの同窓生より様々な支援を受けることができる。1年次にインターンシップ、2年次に職場見学、3年次に模擬面接・模擬試験・作文指導などを実施し、企業理解と進路実現を目指す。

<進学への対応>

国公立大学や私立4年制大学への進学希望者は、2・3年次に選択科目で普通教科を履修し、進学に対応した学習の深化をはかることができる。また、早朝課外・進学模試・小論文（面接）指導などを実施し進路実現を目指す。

(3) 特色ある学校づくり

スポーツ・文化活動では、多くの部活動で全国大会の出場実績があり、全国レベルの活躍を目指している。また、大学との協働研究や、海外の姉妹校（韓国）との交流を積極的に行い、幅広い人間性の育成を目指している。

各種資格取得に力を入れ、数々の実績を上げることにより、専門性の深化につなげている。

2. 志願してほしい生徒像

工業の専門分野に興味・関心を持ち、ものづくりや資格取得に熱心に取り組む意欲があり、基本的な学力を有し、次のいずれかの要件に該当する者。

○基本的な生活習慣が確立しており、中学校の3年間の出席状況がきわめて良好で、学習成績が全般的に優れている者。

○工業に関する将来のスペシャリストになるために、大学進学や高度な資格を取得するなど明確な目的を持ち、各科において中心的な活躍が期待できる者。

○体育的な活動や文化的な活動等において顕著な実績を上げ、入学後も積極的・継続的に活動できる者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

全学科共 50%以内

(2) 出願の条件

条件A

中学校での学習成績や行動が良好で、将来の目的を明確に持ち、入学後も各科の活動において、中心的に活躍できる者。また、ものづくりに興味・関心が高く、将来のスペシャリストを目指す者。

条件B

学習面の基礎的な力とともに、教科以外の活動においても実力を有し、高校において積極的にその活動を続ける意志の強い者で次に該当する者。

○本校の部活動に関係するスポーツ及び文化活動の種目、または類似した活動において、県レベル以上の大会で、中心となり活躍したことを公的に証明することができる者。または、それと同等以上の力量があると中学校長が認め証明書を発行できる者。

【本校の部活動】

- 体育局：陸上・駅伝、バスケットボール、サッカー、バレーボール、卓球
ソフトテニス、ラグビー、ハンドボール、バドミントン、新体操
柔道、剣道、弓道、自転車、ボクシング、空手、テニス、野球
- 学芸局：美術、写真、吹奏楽、茶道、軽音楽、機械技術、情報システム
建築研究、ハングル語研究、無線

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校及び志望学科を志望する動機と興味・関心、学習意欲、入学後の高校生活への意欲、将来の希望や特技等を確かめる。また、中学校における基礎的な学力を確かめる。	個別面接 (出願人数により集団面接になる場合もある。)	15分程度 (集団面接の場合は20分程度)

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：40分 字数：400字
特技	実績として提出された証明書等の書類審査
個性表現	5分程度の実技披露又は発表・表現を行う

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現	備考
条件A	50	30	20	—	—	前期募集人員の6割程度
条件B	40	30	—	10	20	前期募集人員の4割程度

※ 調査書の学習の記録については、第3学年を評価の対象にする。

(6) その他

- 出願の条件Bを選択した生徒は、本校で定めた志願票に証明するもの（コピー可）を貼り付け提出する。
- 本校への出願に必要な書類については、本校事務室にて随時入手することができる。また本校のホームページでもダウンロードすることができる。URL <http://www.kofu-th.ed.jp/>

4. その他

○山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）

ボクシング、卓球、バレーボール、新体操、サッカー、自転車、柔道

山梨県立甲府城西高等学校

1. 教育方針等

- (1) 自主性・創造性を養い、豊かな個性を伸ばします。
- (2) 心身ともに健康で、たくましく生きる力を養います。
- (3) 社会の変化に対応できる、国際的な視野と教養の育成を図ります。

具体的には、次の3つの目標を定めています。

- (1) 自ら進んで学習し、進学にも就職にも対応できる学力の向上を図ります。
 - ・進路に基づいて、興味・関心のある科目を選択し、自分だけの時間割で学習します。
 - ・読む、書く、聞く、話す力をつけることに総合的に取り組みます。
- (2) 部活動をとおして、豊かな人間性を育てます。
 - ・運動部、文化部の活動を活発にして、県を代表するレベルをめざします。
 - ・学習と部活動の両立をめざします。
- (3) 基本的生活習慣を確立し、高校生らしい態度の育成を図ります。
 - ・さわやかな朝の「あいさつ」や朝の「読書」から、充実した高校生活を始めます。
 - ・ルールやマナーを身につけ、社会に貢献できることをめざします。

2. 志願してほしい生徒像

本校の教育方針を理解し、総合学科の特色を生かして「自分の可能性に挑戦したい」、と考える生徒を待っています。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

総合学科 40%以内

(2) 出願の条件 (次の条件のいずれかを満たす生徒です。出願時に該当する条件を一つ選択してください。)

- A 自ら進んで学習し、将来の夢を実現させるために頑張りたい、という意欲のある生徒
- B 中学校で部活動に積極的に取り組んでおり、継続して頑張りたいという意欲のある生徒 (B-ア：特技、B-イ：個性表現)
- C 中学校で生徒会活動やボランティア活動に積極的に取り組んでおり、継続して頑張りたいという意欲のある生徒
- D スポーツクラブや文化的活動に取り組んでおり、継続して頑張りたいという意欲のある生徒 (D-ア：特技、D-イ：個性表現)

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校への志望動機、入学後の学習や部活動等の希望、将来の希望、興味・関心、思考力・判断力、表現能力などを観察、確認する。	個別面接 (ただし出願者数によっては集団面接)	10分程度 (集団面接の場合は15分程度)

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
特 技	活動の実績を証明する資料による書類審査
個性表現	学校や、学校以外での活動をとおして得た体験や考えをもとにして、自分の長が表れていたり得意とする内容を、言葉や動作で表現する。たとえば楽器演奏・スポーツの実技・研究発表・体験発表・手話などで、自己をPRする。(表現時間は10分程度)

- ・出願の条件AまたはCの場合は、必ず個性表現を行います。
- ・出願の条件BまたはDの場合は、特技または個性表現を選択してください。
- ・出願の条件BまたはDに該当し、個人または団体のレギュラーとして出場した県レベル以上の大会の入賞を、客観的に証明する資料を添付できる場合は、特技として出願することができます。

(5) 選抜資料比重

区 分	調査書	面 接	特 技	個性表現
条 件 A	50	30	—	20
条件 B - ア	50	30	20	—
条件 B - イ	50	30	—	20
条 件 C	50	30	—	20
条件 D - ア	50	30	20	—
条件 D - イ	50	30	—	20

- ・調査書の学習の記録は、第3学年を評価の対象とします。

(6) その他

- ・出願には「甲府城西高等学校検査項目申請書」が必要です。用紙は本校で行う前期募集説明会で配布します。説明会後は本校ホームページからダウンロードできます。
- ・特技の場合は、実績を証明する資料が必要です。

4. その他

- ・本校のフェンシング部とライフル射撃部は、平成19年度山梨県高等学校運動部強化指定となっています。

山梨県立甲府昭和高等学校

1. 教育方針

校訓「自主創造」のもとに、真理を愛し、たくましく、心豊かな人間を育てることを教育目標にしています。開校以来の「さわやか教育」（さわやかな行動、さわやかな環境づくり、さわやかなあいさつ、さわやかな服装）を実践しながら、職員・生徒が一丸となって知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指しています。

具体的には、

- (1) 主体的に学ぶ意志・態度・能力を育てます。
- (2) 将来の人生設計を視野に入れた進路選択を行える力を育てます。
- (3) 体力の向上を図り、安全と健康を大切にする気持ちを育てます。

2. 志願してほしい生徒像

- (1) 本校の教育方針を理解し、活力と魅力のある学校づくりに積極的に参加しようとする生徒
- (2) 学ぶこと、考えることにより、自らを高めようとする意欲がある生徒
- (3) 自然や読書、芸術、スポーツに親しみ、知的好奇心と豊かな感性を備えている生徒
- (4) 同級生や家族など他者への思いやりがあり、集団生活や社会生活を送るうえで必要なルールやマナーを守ることができる生徒
- (5) 人の話をよく聞き、感じたことや考えたことをきちんと相手に伝えることができる生徒
- (6) 社会の出来事や、世の中の動きに関心を持ち、積極的に人と関わろうとする生徒

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

- ① 予習復習をきちんとおこない、授業を大切にして、学力を伸ばそうとする意欲がある生徒
 - ② 規則正しい生活を送ることができ、自分の夢を実現させるために努力をすることができる生徒
- 以上の①及び②の条件を満たし、次のA、Bの条件のいずれかに該当する生徒であること。
- A 特に数学や理科、英語の学習に興味、関心があり、大学への進学を志している生徒
- B 生徒会活動や学級活動、部活動をはじめ、ボランティア活動などの様々な活動と進学のための

学習を両立させ、意欲的に高校生活を送ろうとする生徒

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
志望理由や将来の進路、中学校での活動、高校生活の過ごし方、教科の基本的な知識などについて確認する。	個別面接 (ただし、志願者多数の場合は、集団面接とする。)	10～15分程度 (集団面接の場合は、20～25分程度)

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間50分 600字

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文
条件 A	60	30	10
条件 B	50	40	10

※調査書の取り扱いについて

- ①条件A・Bとも学習の記録については、第3学年の評定を評価します。
- ②条件A・Bとも、「国語・社会・数学・理科・英語」の5教科の評定を1.5倍し、その他の教科は1.0倍とします。
- ③条件A・Bとも、生徒会活動や学級活動、部活動をはじめ、ボランティア活動などの実績は調査書の中で評価します。

4. その他

(1) 「エネルギー教育実践校」(平成17年度～平成19年度)

(2) 部活動

山梨県高等学校運動部強化指定(平成19年度)

ボクシング(男子)、なぎなた(女子)

山梨県立農林高等学校

1. 教育方針

全国に誇れる広大な『緑のスクールパーク』の恵まれた教育環境の中、「食と環境」、「いのちと心」を育む教育を柱とし、実験実習など体験に基づく学習を展開する。「誠実の人となれ」の校訓のもと、「自主・自立・連帯の精神と実践力を養い、社会の発展に貢献する人材を育成する」を教育目標として、次の指導重点を置く。

- (1) 農業専門高校としての特色ある学校づくりに努める。
- (2) 進路目標を確立させデュアル・インターンシップ等とおし、キャリア教育の推進を図る。
- (3) たくましい豊かな心と道徳的実践力の育成に努める。

【本校で育てたい生徒像】

- ・学んだことを生かし社会に役立つ有為な人。
- ・社会の一員として自信を持って生きる人。
- ・何事にも真摯に取り組み奉仕と感謝の心を持てる人。

2. 志願してほしい生徒像

《本校の教育内容に興味・関心を持ち、次のいずれかと各科の要件に該当する者》

- (1) 中学までの基礎・基本的学習事項や基本的生活習慣が身に付いており、学習意欲が旺盛である者。
- (2) スポーツ・芸術活動に優れており、入学後も継続的に部活動に取り組む向上心を有している者。
- (3) 各学科の教育内容を理解し、明確な進路目標を持ち、進学・就職等に対して努力し自己実現を図ろうとする者。
- (4) 自然環境や生命の大切さを理解し、動植物の生態・生育に興味・関心を持ち、その学習・実験実習に真面目に取り組むことができる者。

《各科の要件》

・システム園芸科

農業、園芸に興味・関心を持ち、果樹・野菜・草花を始め、バイオ・園芸デザイン等生物の活用に関する学習に取り組みたい者。

・森林科学科

森林に興味・関心があり、森を守り育て、樹木を活用するものづくりに関する学習に取り組みたい者。

・環境土木科

ダム、橋、道路など土木構造物に興味・関心があり、測量・設計・施工に関する学習に取り組みたい者。

・造園緑地科

自然環境、公園や庭園に興味・関心を持ち、心やすらぐみどりの空間づくりやその管理に関する学習に取り組みたい者。

・食品科学科

食品に興味・関心があり、食品製造・食品化学・微生物等の実験・実習に関する学習に取り組みたい者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

各科 50%以内

(2) 出願の条件

- A 各学科の学習内容を理解し、本校での学習を希望する者。
- B 農業・園芸・環境・食に強い関心を持ち各科に関連した後継者、又は技術者を目指す者で、後継者（技術者）に関する計画書を提出できる者。
- C スポーツ・芸術活動に優れた能力を持つ者で次のいずれかの条件を満たす者。
 - ア スポーツ・芸術活動に関する実績証明書等を提出できる者。
 - イ スポーツ・芸術活動に関する自己表現ができる者。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を志望する動機と興味・関心、学習意欲、将来の希望などを確認する。	集団面接（5～6人） 及び個別面接	集団面接 15分程度 個別面接 15分程度

(4) 本校で定める検査

検査項目	検査内容
作文	時間：40分 字数：400字以上600字以内
特技	スポーツ・芸術活動の実績証明書等による書類審査 ※実績証明書等については、県大会等への出場実績がない者でも特に優れた者は中学校長による証明も可。
個性表現	後継者（技術者）に関する計画書に基づいたプレゼンテーションを行う。（10分以内）
	スポーツ・芸術活動に関する表現（10分以内）

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現
条件 A	40	40	20	—	—
条件 B	30	40	10	—	20
条件 C-ア	30	40	10	20	—
条件 C-イ	30	40	10	—	20

※調査書の学習の記録の評価は、第3学年を対象として評価する。

※出願時に「A」、「B」、「C-ア」（特技）、「C-イ」（個性表現）のいずれかの出願条件を選択する。

(6) その他

県が定める出願書類以外に、本校で定める次の書類を出願時に提出する。

- ・ 出願の条件の選択の記入用紙【全員】
- ・ 後継者（技術者）に関する計画書【出願の条件Bに該当する者】
- ・ 中学校長の証明書（様式は任意）【出願の条件Cに該当する者】

上記の書類（中学校長の証明書を除く。）は、本校事務室で配付するとともに、本校ホームページからダウンロードできます。

4. その他

強化指定校等について

弓道部（H19年度）

山梨県立巨摩高等学校

1. 教育方針

真理を愛して文化を尊び、高いコミュニケーション能力を備えた新しい時代を主体的に生きる人間の育成を図る。

2. 志願してほしい生徒像

中学校における学習の基礎・基本が定着していて、本校への明確な志望動機を持ち、かつ次のいずれかに該当する生徒。

- 1 学習意欲に溢れ、部活動にも積極的に取り組み、心身を鍛え、自己の目標に向けて努力する生徒。
- 2 生徒会活動や奉仕活動に意欲的に取り組み、豊かな心を身につけようとする生徒。
- 3 特定の分野（芸術・外国語・地域文化等）にすぐれた知識・技術・才能を持つ生徒や海外への興味・関心が高い生徒。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

普通科

「志願してほしい生徒像」をふまえ、次の条件1～3のいずれかに該当する生徒。

条件1

学習意欲が旺盛で、明確な大学進学への意志を有する生徒。

条件2 体育活動

種目は、以下に示す部活動とする。

陸上（男女） 弓道（男女） ホッケー（女） バレーボール（女）
バスケットボール（男女） サッカー（男） 野球

☆団体種目においては、県大会以上の大会で優勝し、中心選手として活躍した生徒。個人種目においては、県大会以上の大会で3位以内の生徒。

☆その他上記には当てはまらないが、各種大会で中心選手として活躍した生徒。（出願時に、大会の成績を証明する賞状、新聞記事等のコピーを添付すること）

条件3 文化活動

☆中学校の部活動で、団体のものは県大会以上の大会で優勝し、中心メンバーとして活躍した生徒。個人の場合は県大会以上の大会で3位以内の生徒。

☆上記には当てはまらないが、各種大会で中心として活躍した生徒。

☆部活動以外で特筆すべき実績や、県大会以上の発表会・コンクール等で顕著な活動が認められる生徒。

☆英語検定、漢字検定、数学検定等において3級以上の資格を有する生徒。

（出願時に、実績を証明する賞状や証明書などのコピーを添付すること）

【理数コース】

学習意欲が旺盛で、自然科学や理系方面に強い興味・関心を持ち、明確な大学進学への意志を

有する生徒。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を志願する理由、資質、意欲、将来の夢等に加え中学校における学習の定着を確認する。	個別面接	10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：600字程度
特技	実績証明書による書類審査

(5) 選抜資料比重

普通科

区分	調査書	面接	作文	特技
条件 1	60	30	10	—
条件 2	40	20	10	30
条件 3	40	20	10	30

※調査書の「学習の記録」については第3学年の必修9教科のうち、国語、社会、数学、理科、英語の評定を2倍し、その他の教科の評定を1倍した合計とする。

【理数コース】（理数コースは普通科とは別枠で選抜）

区分	調査書	面接	作文	特技
理数コース	60	30	10	—

※調査書の「学習の記録」については第3学年の必修9教科のうち、国語、社会、数学、理科、英語の評定を2倍し、その他の教科の評定を1倍した合計とする。

(6) その他

※理数コースを希望した者は理数コースの指定にもれた場合、普通科を希望することはできません。

※不明な点がある場合は、本校に問い合わせをして下さい。

4. その他

(1) 山梨県高等学校運動部強化指定校（平成19年度）

陸上（男） 弓道（女） ホッケー（女）

(2) 前期募集選抜についての説明会を7月1日（日）午後2時から桃源文化会館で開催します。また、高校説明会を8月25日（土）本校で行います。

山梨県立白根高等学校

1. 教育方針

- (1) 豊かな人間性の育成
- (2) きめ細かい指導
- (3) 地域社会に信頼される学校作り

挑 戦 — 頑張る白根スピリット

校是「自主自立 進取研鑽」のもと昭和59年4月、270名の第1期生を迎え、白根高校はスタートしました。以来、新設校としての苦難を乗り越え、チャレンジャー精神を全面に押し出して、昭和・平成初期を乗り切ってきました。その歴史は、決して平坦なものではありませんでした。しかし、平成15年、『学び 高め 拓く』の新たな教育目標を掲げ、生徒と教師が一体となり、高いステージの目標を目指す挑戦を始めました。生徒の持つ可能性を最大限に伸ばし、生徒の頑張る気持ちに全力を挙げて応える。そして、次なるステージへ笑顔とともに送り出す。それこそが、新生白根教育の真髄であると自負しています。

2. 志願してほしい生徒像

普通科の課程を学ぶにふさわしい基礎学力を身につけ、学習及び生活態度が概ね良好で、本校への志望理由が明確であり、入学後は勉学に励み、心身を鍛え、健全な高校生活を送ることに強い意志を持つ者であって、次のいずれかに該当する者。

- (1) 学習意欲に溢れ、自己実現に向けて努力を継続できる者。
- (2) 体育活動・文化活動・生徒会活動等において適性があり、入学後も意欲的に活動できる者。
- (3) 生徒会活動やボランティア活動に興味・関心があり、入学後も学校のリーダーとして積極的に活動することが期待できる者。

(国際文理コース)

高習熟の学習に対応できる学力を有し、文系理系を問わず国公立大学等への進路希望が明確である者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

志望の動機・理由が明確で、将来の進路目標がしっかりしており、入学後も学習や部活動に積極的に取り組む意欲があり、かつ、以下のいずれかに該当する生徒。

- ① 学習活動が良好で、大学進学を目指すなど、進路目標をしっかり持ち、将来への希望を実現しようとする強い意志を持つ生徒。
- ② 体育、文化を問わず、部活動に励み、それぞれの分野で活躍し、県大会出場、または、それと同等の実績を有する生徒で、入学後も中学校と同一の部活動で活動する強い意志を持つ生徒。

ただし、ここでいう部活動は「本校の独自書類」3ページ目にある種目とする。

(実績を証明するものを添付すること)

- ③ 生徒会活動やボランティア活動に特筆すべき実績を残し、高校入学後も学校のリーダーとして活躍することが期待できる生徒。(証明するものを添付すること)

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を志望する理由、本校入学後の学校生活に対する抱負、学習意欲や向上心、課外活動の状況、将来の希望などを確認するとともに、中学校で学ぶべき基礎的基本的な学習事項の定着状況についても確認する。	個別面接	10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：600字程度
特技	独自書類等による書類審査

※特技検査の独自書類について

「実績報告書」に実績を証明する賞状や新聞のコピー等を添付して提出する。実績を証明する資料等がない場合は、コピー等の代わりに「中学校長による実績証明書」を提出すること。

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	備考
条件①	60	30	10	—	比重A
条件②	45	30	10	15	比重B
条件③	45	30	10	15	比重B

※ 調査書の学習の記録については第3学年の必修9教科の成績評定を合計する。

ただし、英語、数学、国語、理科、社会の評定を2倍し、その他の教科の評定は1倍とする。

(6) その他

- ① 上記(4)「特技」の「実績報告書」、「中学校長による実績証明書」の用紙は、「山梨県立白根高等学校」のホームページからダウンロードできます。

URL <http://www.kai.ed.jp/shirane-hs/>

- ② 国際文理コースの指定方法は、次のとおりである。

上記(5)「比重A及びB」で得点化された成績を同一の基準で算出された成績と見なし、普通科全体の選抜を行う。その後、国際文理コースを希望する者全員について「比重A」の基準に基づいて成績を算出し、コース指定の判定をする。コースの指定に漏れた場合、普通科を第2希望としない者は普通科も不合格となる。

4. その他

- (1) 山梨県高等学校運動部強化指定(平成19年度)男子ホッケー部
 (2) 県内普通科高校におけるインターンシップのパイオニア

山梨県立増穂商業高等学校

1. 教育方針

(1) 校訓 「誠実」

(2) 教育目標

- ① 豊かな人間性を養い、健やかな心身の育成を図る
- ② 自主・自立の精神を培い、創造性豊かな人間の育成を図る
- ③ 商業に関する専門知識と技術を習得させ、経済社会の発展に寄与するたくましい商業人の育成を図る

(3) 指導重点

- ① 自己教育力の育成に努める
- ② 自律的生活態度の育成に努める
- ③ 豊かな人間性の育成に努める
- ④ 国際化・情報化への対応力の育成に努める

(4) 生徒実践目標

- ① 学力の向上に努める
- ② 規律を守り責任を果たす
- ③ 幅広い教養と福祉の精神を身につける
- ④ 部活動に積極的に参加する
- ⑤ 礼儀（あいさつ・正しいことば遣い等）を身につける

(5) 特色

本校は、商業の専門高校として、将来のスペシャリストに必要な「ビジネスの基礎・基本としての能力」を育成することを目標に、教育を実践している。

3年間を通して、商業科目を全科目の約1/3の割合で学習するが、商業科目においては、各種の資格取得に力を入れることはもちろん、地域との交流や実社会での体験を目的として、地元商店街のホームページを作成してWeb上に公開したり、インターネットを利用して県外の商業高校と特産物の取引を行うなど、特色ある授業も展開している。また、パソコンのプレゼンテーションソフトを使った校内課題研究発表会を増穂町文化会館にて催したり、県内の商業関係高校10校が一堂に会する高校生徒商業研究発表大会に率先して参加するなど、プレゼンテーション能力の育成も図っている。

さらに、自己を知り、視野を広げ、進路選択の幅を広げるために、総合的な学習の時間等を利用して、社会で活躍している様々な分野の方々を学校に招き、職業や社会や生き方について講演をしていただく機会を多く設けている。これは、将来良き商業人となるためには、良き社会人であることが前提であり、そのためには人づくりが欠かせないからである。よって、規則やマナーを守ること、思いやりの心を持つこと、明るく元気にあいさつができることなど、基本的な社会生活のルールを身につけることも重視している。

また、本校では部活動の活性化にも力を入れており、運動部では、野球部をはじめ、いずれもインターハイや関東大会に出場した実績がある女子バレーボール部・女子バドミントン部・弓道部・ソフトテニス部・陸上部・卓球部・女子バスケットボール部等が日々熱心に活動を行っている。文化部では、美術部・書道部・箏曲部・茶道部等が毎年県高等学校芸術文化祭に参加し活躍している。

さらに、商業高校に特徴的な部である検定研究部は、各種検定1級合格を目指して特訓を重ね、7冠を達成したり、関東大会に出場したりと、その活躍は目覚ましい。

最近数年間の卒業生の進路は、就職約6割、進学約4割で、就職・進学ともに決定率は100%であった。近年の傾向としては、進学希望者が少しずつ増えている。進学については、専門学校への進学者の割合が多いが、大学進学についても、本校在学中に取得した資格を生かして、指定校推薦や全国商業高等学校長協会特別推薦等により、経済学部・経営学部・商学部等へ進学する道が開かれている。

2. 志願してほしい生徒像

- (1) 商業の専門高校である本校を志望する明確な動機を持っている者
- (2) 入学後学習面や部活動でどのような高校生活を送るかについて、明確な目的意識と高い意欲を持っている者
- (3) 自らの将来について真剣に考え、日々成長するための努力を惜しまず自己研鑽に努める者
- (4) 幅広い分野に興味を持ち、各方面の才能を開花させることに努める者
- (5) 規則を守り、規律ある集団生活に寄与できる者

3. 前期募集選抜方法

- (1) 募集定員に対する募集率

商 業 科 40%以内

情報処理科 40%以内

- (2) 出願の条件

本校への志望動機や理由が明白であるとともに、自己の目標の実現に真剣に取り組む意欲がある者であって、次のいずれかに該当する者。

- ① 商業関係の資格取得に積極的に取り組む意欲を持っている者
- ② 実学を学びながら大学・専門学校等に進学したい者
- ③ 体育活動・文化活動・生徒会活動等において優れた能力を持ち、入学後も継続して活動する意欲を持っている者

- (3) 面 接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を志望する動機、適性・興味・関心、学習意欲および将来の希望などを確認する。	個別面接	10分程度

- (4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作 文	時間：30分 字数：400字程度

- (5) 選抜資料比重

区 分	調査書	面 接	作 文
全 学 科	50	35	15

※調査書の学習の記録についての評価対象は、第3学年のみとする。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）女子バレーボール部

山梨県立市川高等学校

1. 教育方針

校訓

「敬愛自尊」(人間はだれでも、すばらしい素質を持っている。だから、お互いに尊重しあい自分をも大事にすることが大切だという意味です。)の校訓のもと、勉強と部活動を両立させ積極的に取り組み、明るく健康で各自の目標が実現出来るようにサポートしています。

教育目標

- (1) 自ら進んで学び、自分さがしの出来る生徒を育てます。
- (2) 自己を見つめ、創造性や社会性など豊かな人間性を持った生徒を育てます。
- (3) 誠実で意志が強く、社会に貢献できる生徒を育てます。

本校の特色

- (1) 小さい学校ですが、キラリと光る輝きを持っています。
進路実績や部活動の活躍など、さまざまな面で市川ファミリーはキラキラと輝きつづけます。
- (2) 一人ひとりの個性とスタイルを大切にす姿勢は、どこにも負けません。
生徒と同じ数だけ教え方もあるのです。
- (3) 毎年、国公立大学や私立大学など難関校への進学者が多数です。
自分の将来を真剣に見つめる生徒たち。一人ひとりを一生懸命サポートする教師陣。
3年後の自分を描いてください。
- (4) 本校の門を一步入ると美しい歌声と、元気な掛け声が聞こえてきます。
放課後のひととき、生徒は楽しく充実した高校生活を送っています。
甲子園出場5回の実績に輝いている野球部、全国大会出場のソフトテニス部、関東大会出場の空手部・柔道部、各大会上位のバスケットボール部等があります。
文化部では県下トップレベルのハーモニーを誇り全国大会常連の音楽部、西関東大会出場の吹奏楽部、奉仕の心で頑張るユネスコ、JRC等があります。

2. 志願してほしい生徒像

- (1) 基本的な生活習慣をしっかり身につけている生徒
- (2) 意欲的に学習に取り組もうとする姿勢がある生徒
- (3) 社会に目を向けて積極的に人と関わろうとする生徒
- (4) 自分の将来を自ら切り拓いていこうとする生徒
- (5) 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動等いずれかにおいて優れた資質や実績を持っている生徒

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科：30%以内

英語科：40%以内

(2) 出願条件

普通科 条件A 次の(ア)(イ)いずれにも該当する生徒

(ア) 本校普通科を志望する動機・理由が明白・適切であること。

(イ) 調査書の学習の記録・諸活動の記録等が優良であること。

普通科 条件B 次の(ア)(イ)いずれにも該当する生徒

(ア) 本校普通科を志望する動機・理由が明白・適切であること。

(イ) スポーツ活動、文化活動等に優れた資質や実績を有すること。

英語科 次の(ア)(イ)いずれにも該当する生徒

(ア) 本校英語科を志望する動機・理由が明白・適切であり、英語科に対する適性及び興味・関心を有すること。

(イ) 中学校の成績で国語、社会、数学、理科、英語のいずれにおいても優秀であり、他教科においても良好であること。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
【普通科 条件A】人物、志望理由、志望学科に対する適性、興味、関心、表現力等をみる。	個別面接	10分程度
【普通科 条件B】人物、志望理由、志望学科に対する適性、興味、関心、表現力等および特技に関する内容をみる。	個別面接	15分程度
【英語科】人物、志望理由、志望学科に対する適性、興味、関心、表現力等をみる。英語による質問も含まれる。	個別面接	10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	普通科・英語科 時間：50分 字数：600字以内
特技	普通科条件B 実績証明書等による書類審査（賞状・新聞記事等）

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	備考
普通科条件A	50	30	20	—	前期募集人員の2／3程度
普通科条件B	30	30	20	20	前期募集人員の1／3程度
英語科	50	30	20	—	

※普通科 条件A・B

調査書の学習の記録の評価は第3学年とする。

※英語科

調査書の学習の記録の評価は第3学年とし、国語、社会、数学、理科、英語については2倍する。

(6) その他

出願の普通科条件Bの該当者として出願する者は、本校指定の活動実績証明書に、活動実績（賞状、新聞記事、大会プログラム、メンバー表、認定書等）の写しを添付して提出する。様式は、本校事務室で配布するが、ホームページからもダウンロードできる。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）ソフトテニス（男子）、空手道（女子）

山梨県立峡南高等学校

1. 教育方針

質実剛健・勤労愛の精神のもとに、知・徳・体の調和した、社会に貢献できる人材の育成をめざす。

- (1) 勤労を尊び、自主的・積極的で心身共に健全な産業人を育てる。
- (2) 基礎・基本を身につけ、専門的な技能・技術を習得し、たくましく社会を生き抜く力を育てる。
- (3) 基本的生活習慣を確立し、心豊かな人間を育てる。

2. 志願してほしい生徒像

- (1) 次の各科の募集条件に合い、ここで学んだ専門の知識・技能・技術を生かし、産業人として社会に貢献しようという目的意識のはっきりした学習意欲のある生徒。

電子機械科	工作機械等によるものづくりやコンピュータの学習に興味・関心があり、目標を持って将来への希望を実現する意欲を持った生徒。
建築インテリア科 建築コース	建築に関する学習や実技を伴う教科に興味・関心があり、ねばり強く、前向きに取り組める生徒。
建築インテリア科 インテリアコース	インテリア・デザインの学習や実技を伴う教科に興味・関心があり、ものづくりに継続してねばり強く、前向きに取り組める生徒。
土木科	道路や橋など土木に関する学習に興味があり、ものづくりや資格取得に積極的に取り組める生徒。
情報ビジネス科	ビジネス活動及びコンピュータの学習に興味・関心があり、商業に関する検定などの取得に意欲的に取り組める生徒。

- (2) 基本的生活習慣が身に付いており、学校や社会の秩序・マナーを守ることができる生徒。
- (3) 部活動・生徒会活動や地域との交流活動、ボランティア活動などに積極的に取り組める生徒。

3.. 前期募集選抜方法

- (1) 募集定員に対する募集率

電子機械科	40%以内
建築インテリア科	40%以内
土木科	40%以内
情報ビジネス科	40%以内

- (2) 出願の条件

「志願してほしい生徒像」に合致し、次のいずれかに該当する生徒

ア 産業人としての将来に対する明確な目標を持ち、入学後も各科の活動において中心的に活躍できる生徒。

イ 次に示す部活動において積極的に活動し、入学後も継続して活動する意思のある生徒。(実績を証明する資料又は中学校長による証明書を提出すること。)

※本校の部活動

- ・体育局：柔道、陸上、登山、卓球、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ソフトテニス、野球、弓道、空手道
- ・文化局：吹奏楽、美術

ウ 継続的にボランティア活動（学校行事を除く）の活動実績があり、入学後も取り組み、地

域社会に貢献できる生徒。

(証明する資料などを提出すること。中学校長による証明でも可。)

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
志望動機、学習意欲、興味・関心、人物等について確認する。	個別面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法		検査内容
作文		時間：30分 字数：400字
個性表現 50分	電子機械科	○簡単な金属板の加工 ※携行品：なし
	建築インテリア科 建築コース	○木材の組立と作図 ※携行品：鉛筆、消しゴム
	建築インテリア科 インテリアコース	○粘土による立体表現 ※携行品：タオル、鉛筆、消しゴム
	土木科	○紙を使用した立体模型の作製 ※携行品：鉛筆、消しゴム、三角定規、コンパス、分度器、はさみ
特技		出願の条件イ・ウで志願した者を対象とし、証明する資料などにより書類審査する。

(5) 選抜資料比重

電子機械科・建築インテリア科・土木科

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現
条件ア	40	30	10	—	20
条件イ	30	30	10	20	10
条件ウ	30	30	10	20	10

情報ビジネス科

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現
条件ア	40	40	20	—	—
条件イ	30	30	20	20	—
条件ウ	30	30	20	20	—

※調査書の学習の記録は各学科とも第3学年を対象とする。

(6) その他

出願条件のイまたはウで志願する場合は、「活動実績報告書」に実績を証明する資料（賞状のコピー、新聞記事など）を添付して提出する。実績を証明する資料等がない場合は「中学校長による実績証明書」を提出する。

なお「活動実績報告書」、「中学校長による実績証明書」の用紙は、峡南高等学校ホームページからダウンロードできる。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）女子空手部

山梨県立身延高等学校

1. 教育方針

- (1) 自主的創造的な学習態度を育てる。
- (2) 剛健の気風を養い、豊かな人間性を育てる。
- (3) 規律節制を守る自律的生活態度を育てる。

2. 志願してほしい生徒像

本校を強く志望する生徒で、本校の教育方針を理解し、校訓である「質実剛健」「互助互譲」の校風（精神）に共感し、次のいずれかの条件に該当する生徒。

- (1) 学習や部活動など何事に対しても意欲的に一生懸命取り組むことができる生徒
- (2) 明確な目的意識を持った生徒
- (3) 集団の中でリーダーシップを発揮できる生徒

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

理数科 40%以内

(2) 出願の条件

本校前期募集を志願できる者は、それぞれ以下の条件を満たした者とする。

[普通科条件A]

前期募集を志願できる者は次のいずれかの条件を満たした者とする。

- ① 本学科を志望する動機・理由が明白・適切であること。
- ② 人物が優れていること。
- ③ 学習成績が優良であること。
- ④ 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動等のいずれかにおいて有意義な中学校生活を送った者。

[普通科条件B]

前期募集を志願できる者は次の全ての条件を満たした者とする。

- ① スポーツ活動や文化活動において、優れた実績を残した者。
- ② 本学科を志望する動機・理由が明白・適切であること。
- ③ 人物が優れていること。

[理数科]

前期募集を志願できる者は次の全ての条件を満たした者とする。

- ① 本学科を志望する動機・理由が明白・適切であること。
- ② 本学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- ③ 人物が優れていること。
- ④ 学習成績が優良であること。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
[普通科] ・本学科を志望する動機、理由が明白で適切であるか。 (学習意欲や部活動に対する意欲を含む) ・人物が優れているか。	個別面接	15分程度
[理数科] ・本学科を志望する動機、理由が明白で適切であるか。 ・本学科に対する適性、興味・関心及び基本的知識を有するか。 ・人物が優れているか。		20分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	[普通科・理数科] 時間；40分 字数；350～400字
特技	[普通科条件B] 実績証明書による書類審査； ・実績とは、次のいずれかをいう。 ①スポーツ活動において、個人又は団体の一員として、県大会優勝・準優勝 或いは、県の記録を更新した者。 ②スポーツ活動において、個人又は団体の中心として活躍し、県を代表する 実績を持つ者。 ③文化活動において、県大会優勝、準優勝或いはこれに相当する成績を収め た者。ただし、合唱及び吹奏楽においては、県コンクールにおいて金賞を 受賞した者。

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技
普通科条件A	40	30	30	—
普通科条件B	15	30	30	25
理数科	40	30	30	—

※調査書における学習の記録は、普通科・理数科とも第3学年を評価対象とする。

(6) その他

- ・[普通科条件B]を志願する者は、その実績を証明する賞状や新聞記事等の写し(A4判)を提出すること。ただし、その資料がない場合は、本校指定の「実績証明書」を出願時に提出すること。
- ・上記「実績証明書」は、本校のホームページからダウンロードできる。

4. その他

- ・平成19年度本校の強化指定は、男子ソフトボール部とカヌー部である。

山梨県立石和高等学校

1. 教育方針等

教育理念

- ・自己教育力の伸長（進んで自分を高めようとする人間）
- ・自立の精神の獲得（自分の在り方や生き方を考えることのできる人間）
- ・豊かな心と社会性の獲得（他人を思いやる心や感動する心を持った人間、社会の一員としての自覚と責任感、行動力を持った人間）
- ・国際的視野・感覚の育成（日本の文化や世界の文化に関心を持ち、それらを尊重する心と、国際社会の中に進んで活躍していこうとする人間）

教育目標

「確かな学力を持った心豊かな人間の育成」

教育方針

勉学と部活動の両立を図り、知・徳・体に調和のとれた心身ともに健全な生徒を育成する。

2. 志願してほしい生徒像

普通科

基礎学力を身に付けており、何事にも地道にねばり強く取り組むことができ、自己の将来を切り開いていこうとする強い意志を持った生徒。

国際教養科

大学進学を目指すとともに、英語力を基礎から伸ばし、ねばり強く努力を続けていく生徒。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科	30%以内
国際教養科	40%以内

(2) 出願の条件

普通科

本校で学びたいという強い希望を持ち、中学校における学習と行動が良好で基本的な生活習慣が確立しており、次のいずれかに該当する者。

- ア 中学校における基礎学力を身に付けており、高校での学習活動に積極的に取り組む意志を持つ者
- イ 生徒会活動・地域活動・奉仕活動などを継続的に行い、その活動の実績を有している者
- ウ 部活動に励み、その実績を証明できる者であって、入学後も学習とともに、部活動を継続して取り組む意志を持つ者

国際教養科

幅広い教養を身に付けると同時に、専門性と英語力を高めようとする者で、次のいずれかに該当する者。

- ア 中学校における基礎学力を十分に身に付けており、高校においても学習意欲を持って学習活動を継続していける者
- イ 生徒会活動・地域活動・奉仕活動などを継続的に行い、その活動の実績を有している者
- ウ 部活動に励み、その実績を証明できる者であって、入学後も学習とともに、部活動を継続して取り組む意志を持つ者
- エ 実用英語検定3級以上の資格を有する者
- オ 英語で簡単な個性表現ができる者

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
【普通科】 中学校での生活の様子、本校への志望動機、中学校における学習の基礎・基本が身に付いているか、入学後の活動目標、将来の進路希望などを確認する。	個別面接	15分程度
【国際教養科】 中学校での生活の様子、国際教養科の志望動機、中学校における学習の基礎・基本が身に付いているか、入学後の活動目標、英語への興味関心、将来の進路希望などを確認する。	個別面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
特 技	実績証明書等による書類審査
個性表現	英語による1分間程度の自由スピーチ (国際教養科出願の条件オで出願する者のみ)

(5) 選抜資料比重

【普通科】

区 分	調査書	面接	作文	特 技	個性表現
条 件 ア	40	60	—	—	—
条 件 イ	40	40	—	20	—
条 件 ウ	40	40	—	20	—

※調査書の学習の記録については、第1学年から第3学年を評定の対象とする。

【国際教養科】

区 分	調査書	面接	作文	特 技	個性表現
条 件 ア	40	60	—	—	—
条 件 イ	40	40	—	20	—
条 件 ウ	40	40	—	20	—
条 件 エ	40	40	—	20	—
条 件 オ	40	40	—	—	20

※調査書の学習の記録については、第1学年から第3学年を評定の対象とする。

(6) その他

出願時に提出する本校独自の申請様式は次のとおり。

実績を証明する書類または「実績証明書」

(普通科出願の条件イ、ウで出願する者、国際教養科出願の条件イ、ウ、エで出願する者)

- ・実績を証明する書類として新聞、賞状等のコピーを提出する場合は、検査当日にその原本を持参し提示する。
- ・「実績証明書」は本校指定様式を使用し、本校事務室窓口で入手できるとともに、本校ホームページからダウンロードもできる。

4. その他

- (1) 山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）
ソフトテニス部（男子）、自転車部（男子）、弓道部（女子）ライフル射撃部（男女）
- (2) 県立博物館との連携カリキュラム実施校
- (3) サイエンスパートナーシッププロジェクト実施校
- (4) エネルギー教育推進事業実施校（予定）

山梨県立山梨園芸高等学校

1. 教育方針

進取、自主、自立、連帯の精神と実践力を培い、確かな「生きる力」を身につけた心豊かな人間を育成する。

- (1) 安全文化の確立を目指し、生きていくために「命」の大切さを学ぶ。
- (2) インターンシップにより勤労観、職業観を育て専門的な知識技術を進化させる。
- (3) 音楽を必修とし芸術性を備えた魅力的な産業人を育成する。
- (4) 国際的視野を養い、将来国際舞台で専門性を生かし活躍できる人材を育成する。
- (5) 問題解決能力や自発的、創造的な態度を育てるためにプロジェクト学習や資格取得を推進する。

2. 志願してほしい生徒像

- (1) 中学校における学習の基礎（基本的学習事項）を身につけており、意欲的に学習できる者。
- (2) 本校への志望動機や理由が明確であり、将来産業人として社会に貢献できる者。

3. 前期募集選抜方法

- (1) 募集定員に対する募集率

全学科・全コース 50%以内

- (2) 出願の条件

志願して欲しい生徒像に合致する者で、次の出願の条件ア・イのいずれかに該当する者。

ア 各学科の特性を理解し学習意欲のある者

1 食品化学科

- ・食品、食生活、食文化等に興味関心があり、卒業後は、それらに関係した分野に就職や進学を希望する者。
- ・食品加工、分析等の実験実習に意欲的かつ積極的に取り組める生徒。

2 農業土木科

自然環境の保全、生活空間及び生活基盤の整備を進める技術者としての知識と技術を習得し地域に根ざした技術者を目指す者。専門性をより深めるための進学を希望する者。

- ・将来2級土木施工管理技士を目指す者。
- ・測量・施工技術等に興味がある者。
- ・土木関係の資格取得に積極的に取り組む者。

3 園芸科

園芸植物の栽培及び園芸デザインの基礎的な学習に関心を持ち、将来農業経営者、園芸技術者を目指す者（園芸装飾・フラワーデザイン等の資格挑戦）

4 園芸科生物工学コース

植物バイオテクノロジーに関する基礎的な学習に関心を持ち将来農業技術者及び農学に関わる大学進学を目指す者（バイオテクノロジー関連産業・国公立大学農業系学部推薦進学等）

5 園芸科園芸経済コース

農産物、農業資材の流通や経済、農業分野への情報技術活用に関する基礎的な学習に関心を持ち将来、農業関連産業及び農学に関わる大学進学を目指す者（農協、国公立大学農業系学

部推薦進学等)

イ 農業後継者等や陸上長距離、太鼓演奏、その他顕著な実績がある者

- 1 将来、農業後継者又は農業に従事しようと考えており、その具体的プランを有している者。
- 2 体育活動（陸上長距離等）・文化活動（太鼓演奏等）において優れた能力と適性があり、入学後も部活動等で活躍ができ、それらをさらに向上させようとする強い意志を有する者。
- 3 生徒会活動・文化的活動において顕著な実績を上げ入学後も継続して取り組みリーダーシップをとることができる者。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
学習の意欲、目的意識、各学科コースについての適性・興味・関心、人物について確認する。	個別面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：600字
個性表現	農業後継者等として将来のプランを提出し、内容についてプレゼンテーションを行う。10分程度（条件イの1に該当する者のみ） ※園芸科および園芸科生物工学コース・園芸科園芸経済コースのみ受検可能です。（食品化学科、農業土木科には個性表現はありません。）
特技	実績証明書等による書類審査（条件イの2・3に該当する者のみ）

(5) 選抜抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現	備考
条件ア	40	30	30	—	—	
条件イの1	30	20	20	—	30	農業後継者等
条件イの2	30	20	20	30	—	
条件イの3	30	20	20	30	—	

※ 調査書の学習の記録については第3学年を評価の対象とします。

(6) その他

- ・農業後継者等は将来のプランを記述した【農業プラン計画書】を提出する。
- ・特技による検査を希望する者は【特技実績証明書】に必要事項を記載し特技の内容について中学校長の証明を受けたものを提出する。
(各用紙は本校事務室で配布するとともに本校ホームページからダウンロードできる。)

4. その他

陸上競技部は全国高校駅伝に過去5度出場し、関東大会には連続出場を続けている。

(山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）陸上競技部（男子）)

山梨県立日川高等学校

1. 教育方針等

日川高校は「文武両道」の教育を推進し、「心豊かでたくましい人づくり」を目指します。

- (1) 少人数授業、45分授業7校時、サタデーサプリなど、充実した指導を行い、進路実現可能な高いレベルの学力を身に付けさせます。
- (2) 20の運動部、17の文化部、生徒会活動を通して心身を鍛え、友情をはぐくむとともに、あいさつや礼儀、規律を守る心など、人としての基本を指導します。
- (3) 単位制のメリットを生かした多様な学習メニューを用意し、それぞれの進路、興味・関心に応じた主体的な学びを保障します。
- (4) 県下に誇る重厚な外観と最新の設備を備えた学習環境の中で、優れた指導力と情熱を持った教師集団が生徒一人一人の個性を最大限伸ばします。
- (5) 106年の永きに渡って受け継がれた伝統と、2万8千名を誇る同窓会からの奨学金や部活動支援などがあります。

2. 志願してほしい生徒像

本校への入学を強く希望し、本校での教育を受けるにふさわしい基礎的基本的な学力を有するとともに、高校生活全般に意欲を持って取り組む者で、次のいずれかに該当する者

- A 中学校における学習において優れた成績をおさめた者で、高校入学後も継続して努力する者
- B 体育的活動において優れた能力と適性を有し、高校入学後も部活動に積極的に参加し、継続して努力する者、または、文化的活動において優れた実績をおさめ、高校入学後も継続して活動する者

3. 前期募集選抜方法

- (1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

- (2) 出願の条件

条件A（志願してほしい生徒像A）

次のいずれかに該当する者

- ① 学習に対する興味・関心が高く、目標達成のために強い意欲を持って努力する者
- ② 実用英語技能検定において準2級、または日本漢字能力検定において2級以上の資格を有する者

条件B（志願してほしい生徒像B）

次のいずれかに該当する者

- ① 体育的活動について
 - (i) 次の種目において優れた能力と適性を有する者
ラグビー・ウエイトリフティング・バレーボール（男）・バスケットボール（男）
・体操（男）・柔道（男）・ハンドボール（女）・野球
 - (ii) 上記以外の種目において顕著な活躍をし、優れた成績をおさめた者
- ② 文化的活動について
 - (i) 文化・芸術分野の県以上の大会において、最優秀、あるいはそれに相当する成績をおさめ、

かつ団体においては中心となって活躍した者

(ii) 市町村単位以上の組織・団体の中で、ボランティア活動等を継続的に行い、その中心となつて活動した者

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を志望する動機、人物、学習意欲、基礎学力、社会に対する関心、中学校での活動の様子、入学後の活動目標、将来の展望などを確認する。	個別面接	20分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間 50分 字数 600字
特技	実績や資格を証明できる資料による書類審査及び実績確認
個性表現	楽器演奏等の実技やスピーチ発表など（発表時間7分以内、質問時間8分）

条件Aによる出願者の検査方法は作文とする。

条件Bによる出願者の検査方法は、特技（条件B－ア）または個性表現（条件B－イ）のいずれか一方を出願時に選択するものとする。

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現	備考
条件 A	60	20	20	—	—	前期募集人員の2／3程度
条件 B－ア	30	20	—	50	—	前期募集人員の1／3程度
条件 B－イ	30	20	—	—	50	

調査書の学習の記録については、1学年から3学年の必修9教科の成績評定を評価の対象とし、その比重については、国語、数学、英語を3倍、社会、理科を2倍、その他の教科を1倍とする。

(6) その他

- ①条件Bで出願する者は、「検査方法申請書」を提出する。
- ②特技(条件B－ア)で出願する者は、実績や資格が証明できる資料をA4判でコピーして添付する。
ただし、体育的活動で出願する場合においてこの資料がないときは、「運動に関する記録の証明書」をもって替えることができる。
- ③「検査方法申請書」、「運動に関する記録の証明書」は、本校のホームページからダウンロードすることができる。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定部（平成19年度）

ラグビー・ウエイトリフティング・バレーボール（男）・バスケットボール（男）

体操（男）・柔道（男）・ハンドボール（女）

山梨県立山梨高等学校

1. 教育方針

山梨高校では、校訓「至誠無息」(至誠やむことなし)のもと、知・徳・体のバランスのとれた人材の育成を目指し、「基礎基本の確実な定着」「豊かな心の育成」「健康・安全教育の充実」「信頼される学校づくり」を主な重点的取り組みとして掲げ、教育活動を行っています。

学校の特色として、豊かな国際人を育てる「英語総合コース」や進路希望にそった「類型」の設置、「総合的な学習の時間」におけるインターンシップ(就業体験)、多様な学校設定科目など、個性や適性を伸張し自己実現を目指す教育を積極的に展開しています。

また、充実した学校生活を送るために、運動部や文化部への加入の促進をはかり、友情の深化や感動する心の育成に努めています。

2. 志願してほしい生徒像

基本的な生活習慣が確立している生徒。また、高校入学後も学業や部活動などに励み、人間的に向上しようとする意欲のある生徒。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

条件Aまたは条件Bとする。

条件 A

次のいずれかに該当する生徒。

ア 外国の文化などに興味・関心があり英語の基礎学力をもち大学進学に対する高い意識を持っている生徒。

イ 向学心旺盛で、自分自身の可能性をさらに発展させたいと思う生徒。

条件 B

次のいずれかに該当する生徒。

ア 部活動(ハンドボール、体操、バレーボール、サッカー、野球、吹奏楽部)に3年間熱心に取り組んだ生徒。あるいは、その他の部活動において3年間熱心に取り組んだ生徒。

イ 生徒会役員や学級委員等で、協調性や指導力を発揮し、積極的な役割を果たした生徒。

ウ 資格・検定試験などを受験し、成果を上げた生徒。あるいは、ピアノや書道・英会話等を現在まで継続して3年以上続けており、成果を上げた生徒。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
中学生活の取り組み状況と、高校生活への意欲を確認するとともに、出願条件に合致しているかどうかを判断する。また、必要な基礎学力の定着をみる。	集団面接	20分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：40分 字数：400字
特技	条件Bにより出願する生徒を対象に、本校所定の「ポートフォリオ」に基づき、「部活動」、「生徒会及び学級活動」、「資格・検定・技能」の3分野について評価する。

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技
条件 A	70	20	10	—
条件 B	40	20	10	30

※調査書の学習の記録は、第3学年の必修9教科の評定を評価の対象とします。そのうち、評定の高い上位3教科の評定は2倍します。

(6) その他

① 英語総合コースの選抜について

普通科全体として入学許可予定者を決定した後、条件A・Bに関わりなくコース希望者を対象にコースの指定を行います。ただし、入学許可予定者でコース指定から漏れた場合は次のとおりです。

■普通科を希望する場合・・・普通科への合格となります。

■普通科を希望しない場合・・・入学許可予定者から除外され不合格となります。

② 「ポートフォリオ」の提出について

①条件Bにより出願する生徒のみ提出します。

②分野1（部活動）、分野2（生徒会及び学級活動）、分野3（資格・検定・技能）の3分野すべてに記入し、資料を添付してください。記入する内容が無い分野は、「特になし」と記入してください。

【添付する資料】

中学校での委員等の実績・・・中学校長発行の任命書の写し
部活動での実績・・・表彰状あるいは成績証明書の写し
学校外の活動について・・・賞状や段級の認定書の写し、あるいは現在まで3年以上所属していることの各種団体からの証明書等
※任命書、表彰状等を紛失した場合は、本校所定の「実績等証明書」に記入し提出してください。

○賞状、任命書、認定書等の原本は面接時に確認しますので、試験当日持参してください。

○「ポートフォリオ」および「実績等証明書」の様式の入手は、本校で直接入手もしくは本校のホームページからダウンロードすることができます。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（H19年度）

- ・ハンドボール部（女子）
- ・器械体操（女子）

山梨県立塩山高等学校

1. 教育方針

本校は、普通科（英数コース含む）・商業系三科（商業科・情報システム科・国際経済科）よりなる総合制高校です。

総合制高校の特色を生かし、普通科・商業系三科は、互いにカリキュラム上の乗り入れを行い、どの科においても、4年制大学進学から就職までの進路実現ができるよう生徒の適性に応じ、充実した指導が行われます。

普通科英数コースについては、主に国公立大学の進学を目指しています。

本校の生徒実践目標は、「知性を磨こう」「心を豊かにしよう」「心身を鍛えよう」として、「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を行い、人格の形成を目指します。

2. 志願してほしい生徒像

本校への志望動機が明確で、学習意欲があり、何事にも真面目な態度で学校生活を送ることができる者。

また、スポーツ・文化・芸術等の活動に優れた資質を有している者。

（英数コース）学業成績が優秀で、大学進学を目指している者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科	30%以内
商業科・情報システム科・国際経済科	50%以内

(2) 出願の条件

普通科・商業科・情報システム科・国際経済科

次のいずれかに該当する生徒

条件ア 学習に対する興味・関心が高く、志望動機が明確である者。

条件イ スポーツ・文化・芸術等の活動のいずれかで、入学後、継続的に活動できる者。（実績証明書を添付すること）

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校及び希望学科へ志願する動機と興味・関心・意欲、また人物などを総合的に評価する。	集団面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：40分 字数：400字
特技	実績証明書等による書類審査 (実績を証明する書類の写し、または実績証明書による)

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技
条件ア	60	20	20	—
条件イ	30	20	20	30

※調査書の学習の記録については、第3学年を評価の対象とします。

※なお、条件イの「特技」は、強化指定運動部に限らず、全てのスポーツ・文化・芸術において、評価の対象とします。

(6) その他

- 1) 英数コースの指定については、普通科を選抜した後行います。
- 2) 英数コース希望者は、普通科を第2希望として出願することも可能です。
また、英数コースのみ希望としてもかまいません。
- 3) 英数コースの指定は、次の選抜資料比重によります。

区分	調査書	面接	作文
英数コース	80	10	10

※調査書の学習の記録については、第3学年を評価の対象とします。

- 4) 本校独自の様式(実績証明書様式)については、本校事務室において随時入手することができます。
また、本校ホームページ (<http://www.kai.ed.jp/enzan/>) からダウンロードできます。

4. その他

山梨県高等学校強化指定運動部(平成19年度)は、ハンドボール部(男子)・柔道部(男子)・相撲部・ソフトボール部(女子)です。

山梨県立都留高等学校

1. 教育方針

「自学進取・質実剛健」の校訓のもと、誠実な心と健康な身体をもち、学に励み克己に努める、たくましい生徒を育成する。

(1) 重点目標

- ① より質の高いレベルでの文武両道を目指す。
- ② 他者への思いやりや、優しさをもつ生徒の育成に努める。
- ③ 全ての生徒の進路希望の実現を図る。
- ④ 全ての生徒が充実した高校生活を送れるように努める。

*平成17年度～平成21年度

文部科学省指定「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」研究指定校

(2) 指導目標

- ① 質の高い、熱意あふれる「よい授業」を提供するとともに、生徒自らが自己の可能性を最大限に伸ばせるような「鍛える授業」を行う。
- ② 幅広い選択科目の設定と少人数授業を行うことで、生徒一人ひとりの個性に合った、「深く広く学ぶ」ことのできる学習体制を推進する。
- ③ 生徒の進路希望を実現するために、「強力な進学指導体制」を組み、全国に通用する学力の養成と適切な情報提供・アドバイスをを行う。
- ④ 部活動や生徒会活動を活発にし、県内はもとより関東や全国で活躍できるような「レベルの高い体育・文化活動」を目指す。
- ⑤ 「人間性・社会性豊かな生徒」の育成のため、学校行事やホームルーム活動を充実させるとともに、基本的な生活習慣の確立と生徒指導の徹底を図る。
- ⑥ SSH事業の積極的な展開を図り、「山梨から世界へ羽ばたけ」のスローガンのもと、豊かな創造性と国際性を身に付けた人材の育成を行う。
- ⑦ 学校と家庭及び地域社会の連携を強化し、積極的な情報公開と広報活動を通して、「信頼される開かれた学校」づくりを推進する。

2. 志願してほしい生徒像

高い志や目標を抱き、その実現に向けて努力を惜しまない強い意志と忍耐力及び豊かな人間性を備え、以下のいずれかにあてはまる生徒。

- (1) 学習意欲が旺盛で、入学後、積極的かつ意欲的に学習に取り組もうとする生徒。
- (2) SSHに強い興味と関心を抱き、理数系教科及び英語に高い能力を有する生徒。
- (3) 体育・文化活動において、優れた実績・能力を有し、入学後もその活動を継続・発展させていくとする生徒。
- (4) 他人を思いやる心を持ち、基本的なモラルや社会生活上のルールを尊重し行動できる生徒。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

中学校の学習の成績が優良であり、志望の動機・理由が明確で、将来の進路目標がしっかりしていること。また、入学後も学習や部活動に積極的に取り組む意欲があり、かつ、以下のいずれかに該当する生徒。

- ① 学習状況が良好で、大学進学を目指し、その進路実現に対する意欲を持つ生徒。

- ② 部活動に励み、団体および個人種目においてレギュラーとして活躍し、「小中学校体育連盟」等の主催する県単位以上の大会で、ベスト4以上の成績を収めた生徒。または、同等の実力を有する生徒。(賞状等添付)
- ③ 文化的活動(ボランティア活動等を含む)の分野で特筆すべき実績や、県単位以上の発表会・コンクール等で顕著な活動が認められる生徒、及び各種検定(漢字検定・英語検定等)の2級以上の資格を有する生徒。(賞状等添付)
- ④ SSHに強い興味と関心を持ち、数学・理科・英語に高い能力を有する生徒。
- ⑤ 体育・文化的活動に強い興味と関心を持ち、その分野において高い能力を有する生徒。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を志望する動機と興味・関心、学習意欲、将来の希望、教科の基礎基本などを確認する	個別面接 (ただし、志願者が多い場合は集団面接)	7分程度 (集団面接の場合は20分程度)

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文 1	時間：60分 字数：800字程度
作文 2	時間：20分 字数：400字程度
特技	提出書類の個別確認審査
個性表現	身体表現や楽器演奏等の実技、または学術研究に関するプレゼンテーションやスピーチ発表など(免許や資格を証明するもの、あるいは作品等があればその場で提示してもよい) 時間：5分程度

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文		特技	個性表現
			作文1	作文2		
条件①	30	20	30	20	—	—
条件②	30	20	30	—	20	—
条件③	30	20	30	—	20	—
条件④のア	30	20	30	20	—	—
条件④のイ	30	20	30	—	—	20
条件⑤	30	20	30	—	—	20

* 出願の条件④で出願する生徒は作文2か個性表現のいずれかで出願すること。

* 調査書の学習の記録については第3学年を評価の対象とする。

(6) その他

個別に必要な出願書類

① 前期募集検査項目選択申請書

ただし、出願の条件の特技審査②③で出願する場合は実績や資格を証明する書類の写しを提出するとともに、原本を当日持参すること。

② 入手方法

提出書類は中学校教員対象の前期募集説明会の折に各中学校に配付するが、本校ホームページよりダウンロードできる。

4. その他

山梨県高等学校強化指定運動部(平成19年度)

バドミントン(男女) 登山(男子) 陸上(男子)

山梨県立上野原高等学校

1. 教育方針

本校は、「校訓『叡知創造』の精神のもと、21世紀をたくましく、心豊かに生き抜き、社会の進展と調和に貢献できる人間を目指す。」を教育目標として生徒の育成を図っている。

その実現のために、以下の3点を指導重点としている。

- 1 基本的な生活習慣の確立と、安全管理・規範意識の高揚を図る。
- 2 学習習慣の確立と確かな学力の定着を図り、個々に応じて進路実現を目指した学習指導・進路指導に努める。
- 3 生徒会活動を活発化するとともに、諸活動をとおして心身の健やかな成長を図る。

また、教育目標の実現に向け、以下の五つを柱とする特色ある学校づくりを推進している。

- 進路希望に応じた教育課程の編成と少人数教育の実施
- 読書活動の推進
- 小中高連携および高大連携
- 国際交流事業の継続・推進
- 文武両道

2. 志願してほしい生徒像

本校の教育方針・教育目標を理解して本校入学を強く希望し、中学校生活全般に真剣に取り組んでいる生徒。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科	30%以内
理数科	40%以内

(2) 出願の条件

普通科・・・高校入学後、学習に真剣に取り組もうとする生徒で、次のいずれかに該当する生徒。

- A 3年間継続して学習と部活動の両立を実践する意志を明確に持つ生徒。
 - ・中学校での部活動や地域における諸活動、また、習い事等で身に付けた特技等、もしくは、部活動への強い関心と意欲があり、本校入学後、部活動に3年間継続して積極的に取り組もうとする生徒。
- B 高校生活に明確な目的意識を持ち、意欲的に取り組もうとする生徒。
 - ・中学校において、学級活動や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる生徒。
 - ・中学校生活全般に、真面目に一生懸命取り組んでいる生徒。

理数科・・・学習に対する興味・関心が高く、入学後も意欲的に学習に取り組み、大学進学を目指している生徒。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
<ul style="list-style-type: none">・本校を志願する理由、入学後の高校生活への意欲、中学校生活の状況や人物に関する内容から、本校の出願の条件や志願してほしい生徒像にそっているかを見る。・普通科Aの出願においては、実績証明書における特技の実績あるいは活動内容も確認する。・理数科においては、中学校における教科の基礎的な知識についても確認する。	個別面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：300字程度の作文を2題
特技	本校での部活動に関連する内容で、中学校の部活動で得たものや、地域における諸活動、習い事等で身に付けたものをいい、実績証明書による書類審査。

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技
普通科条件A	30	20	20	30
普通科条件B	60	20	20	—
理数科	40	30	30	—

※調査書の学習の記録については、第3学年のものを評価する。

(6) その他

本校独自の出願書類について

1) 普通科志願者で出願の条件Aに該当する者は、「実績証明書」を提出すること。

「実績証明書」については、最も上位の大会実績を証明する資料（大会報告書あるいは新聞記事等のコピー）、あるいは資格等を証明するもののコピーを貼付し、主な大会実績等を記載する。また、特技内容についての自己アピールを記載する。

2) 「実績証明書」は、前期募集における指定された必要書類以外に提出するものであり、書類は本校のホームページからダウンロードするか、本校事務室にて受領する。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）

体操部（男子） 弓道部（男子） テニス部（女子）

山梨県立谷村工業高等学校

1. 教育方針

- 1 ものづくりや資格取得指導をとおして、職業に関する知識や技能の定着を図る。
- 2 漢字テスト・読書活動等の推進をとおして、基礎学力の定着を図る。
- 3 基本的な生活習慣の確立と、規範意識の向上を図る。
- 4 クラブ活動を推進し、健全で活力のある学校づくりに努める。

2. 志願してほしい生徒像

中学校における学習や行動が良好で、本校及び志望学科への志望動機や理由が明白である。また、社会に貢献できる人間形成を目指し、自己実現に積極的な者であって、次のいずれかに該当する者。

- 1 学習の基礎・基本を身につけており、入学後も自ら学ぶ意欲を持ち、学習と努力を継続できる者。
- 2 志望学科の特色を理解し、工業に関する興味・関心、目的意識を持ち、将来において学科に関連するスペシャリストを目指す意欲のある者。また、各学科に関する専門性を生かした、専門学校・大学等への進学を希望する者。
- 3 体育的活動・文化的活動において、優れた能力と適性を有し、顕著な実績を上げ、入学後も部活動等において自己を磨く努力を積極的に継続できる者。
- 4 生徒会活動やボランティア活動等への取り組みが顕著で、入学後も積極的・継続的に取り組むことができる者。

【各科の要件】

◎機械システム科

- ア 将来は機械システムに関する職域で、スペシャリストとして働きたい者。
- イ 機械の仕組みやメカトロニクス等「ものづくり」に興味・関心があり、実習や実験等体験的な学習に主体的に取り組む意欲のある者。
- ウ 機械分野を始めとする資格取得に積極的に取り組む意欲のある者。

◎電子情報科

- ア コンピュータに興味・関心があり将来は情報関係のスペシャリストとして働きたい者。
- イ 電子機器の設計・製造をはじめとした「ものづくり」に興味・関心があり、将来はその方面でスペシャリストとして働きたい者。
- ウ 電子・情報系の資格取得に積極的に取り組む意欲のある者。

◎環境化学コース

- ア 環境問題や化学に興味・関心を持ち、主体的に学習する意欲のある者。
- イ 危険物等の資格取得に積極的に取り組む意欲のある者。

◎デザインコース

- ア 将来、デザイン技術を生かした職域でスペシャリストとして働きたい者。
- イ 工業デザイン、インテリアデザイン等のデザイン分野に強い興味・関心を持ち、学習意欲が旺盛な者。
- ウ 資格取得に積極的に取り組む意欲のある者。

◎建設科

- ア 将来は、建設系のスペシャリストとして働きたい者。

- イ 建設関係に興味・関心を持ち、実習等の体験的な学習に主体的に取り組む意欲のある者。
- ウ 建設分野を始めとする資格取得に積極的に取り組む意欲のある者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

全学科・全コース 50%以内

(2) 出願の条件

条件A

各学科の学習に対する興味・関心が高く、目標達成のために強い意欲を持って努力する者。または、志望学科の専門分野に興味・関心を持ち、中学校において学習・体育活動・文化活動・ボランティア活動・生徒会活動のいずれかで活動実績がある者。

条件B

体育活動や文化的な活動等において優れた能力と適性を有し、顕著な実績を上げ、入学後も学習を中心に、部活動において努力を積極的・継続的に行う者。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
○本校及び志望学科を志望する動機と興味・関心、学習意欲、将来の希望等を確認する。	個別面接 (条件A・B全員対象)	10分程度
○体育活動や文化的な活動等において優れた能力と適性を有し、入学後も学習を中心に、部活動において自己を磨く努力を積極的・継続的に行う意思があるかを確認する。	個別面接 (条件B出願者対象)	10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：600字
特技	調査書の特別活動の記録等による書類審査
個性表現	鉛筆デッサン等 時間：30分 用紙サイズ：F6程度（条件Aのデザインコースのみ）

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現	備考
条件A-①	45	15	20	10	10	デザインコース
条件A-②	45	25	20	10	—	デザインコース以外
条件B	35	35	20	10	—	各学科・コース

※1 調査書の学習の記録については、第3学年を評価の対象とする。

※2 調査書の特別活動については、調査書としての点数化はせず、特技として点数化を行う。

※3 デザインコースにおける個性表現は、条件Aのみ実施する。

(6) その他

条件B出願者は、面接の参考資料として、原則として賞状や大会記録賞等の実績を証明する資料等の写し（A4サイズ）を添付する。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）相撲部

山梨県立桂高等学校

1. 教育方針

学習と部活動の両立を目指す活気あふれる学園

- 1 心身のバランスがとれ、豊かな人間性と社会性を身につけた生徒の育成を目指します。
- 2 高いレベルの学習と部活動の両立を学校運営の大黒柱とし、日々の教育活動を進めます。
- 3 授業では、少人数クラスによる基礎学力の徹底を図るとともに、大学進学に対応した応用的学力の養成を目指します。
- 4 部活動では、顧問教師が熱心かつ丁寧な指導を行います。
- 5 生徒の将来を共に考えながら、一人ひとりを大切にした進路指導を行います。

2. 志願してほしい生徒像

(普通科)

学習成績が優良、かつ生活態度がまじめで、進学等への意欲を強く持ち、入学後も学習や部活動等に積極的に取り組む者。

(文理科)

特に理数系科目や英語に興味を持ち、学習成績が優秀、かつ生活態度がまじめで、大学進学への意欲を強く持つ者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科	30%以内
文理科	40%以内

(2) 出願の条件

(普通科)

次のいずれかに該当する者。

- 1 教科の基礎基本を身につけており、大学進学への意欲を強く持ち、入学後も高いレベルでまじめに学習の努力を継続できる者。
- 2 生活態度がまじめで、体育面・文化面において優れた能力と適性を備え、入学後もさらに向上心を持って生徒会活動や社会的活動で活躍できる者。

(文理科)

次のいずれかに該当する者。

- 1 英語・数学・理科を中心に学習成績が優秀で、国公立大学等への進学の意欲を強く持ち、入学後も高いレベルでまじめに学習の努力を継続できる者。
- 2 生活態度がまじめで、学習成績が優秀かつ大学進学への意欲を強く持ち、生徒会活動や社会的活動に積極的に取り組み、入学後もこれらの活動においてリーダーシップを発揮できる者

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
興味、関心、適性、意欲、表現、態度等とともに、教科の基礎事項を確認し、本校入学者としてふさわしい人物であるかを判定する資料を得ることを目的とする。	個別面接	普通科 10分程度 文理科 15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：600字
特技	実績証明書等による書類審査（普通科・文理科ともに）

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技
普通科条件1	50	15	25	10
普通科条件2	40	25	15	20
文理科	50	15	25	10

*調査書の記述は全て選抜の判定資料とするが、「各教科の学習の記録」の第1～3学年の必修9教科と「特別活動の記録」の第1～3学年の「活動の事実」と「校外活動の記録」を評価の対象とする。

*文理科は「各教科の学習の記録」の評価において、英語・数学・理科の3教科の成績評定を2倍する。

*「特技」は、①部活動の成果、②部活動以外の体育・文化面の成果、③取得した資格（英検、漢検等）、④3カ年皆勤、⑤役職経験（生徒会や学級役員等）、⑥その他の実績等とする。これらの具体的な内容について、「特技の申告書」の「特技の具体的内容」の枠内に記載し、成績及び記録を証明する資料（実績証明書等）を裏へのり付けして提出する。（のり付けする資料は、賞状や写真のコピー、新聞の切り抜き、担任や顧問、その他の指導者の発行する証明書などで良いが、A4サイズを超えないこと）

(6) その他

「特技の申告書」は、本校教務部に直接請求することにより配布するが、本校ホームページからもダウンロードできる。

4. その他

平成19年度は、ラグビー、ウエイトリフティングで山梨県高等学校運動部強化指定を受けている。

山梨県立吉田高等学校

1. 教育方針

百折不撓の校訓のもと、文武両道の教育をめざす。

(教育体制)

- ・勉強もクラブ活動も十分できる体制が整っている。
- ・勉強ばかりでなく、心の教育や健康教育にも力を入れている。
- ・将来に向かって自己の進路実現ができる進路指導を徹底し、希望大学への全員合格を実現する。
- ・生徒一人ひとりを大切にし、教員が最後まで面倒を見る。

(学校の特徴)

- ・前期・後期の2学期制により、授業時間が確保されている。
- ・生徒会活動が活発であり、また部活動において、クラブ数も多く自分のやりたいクラブが選べる。
- ・「山梨県高等学校運動部強化指定」に指定されている部が多く、毎年関東、全国大会に出場する部が多い。
- ・学校設定教科「富士山学」をとおして郷土を愛する心を育てる。また国際教育の一環として「中国語基礎」「韓国語基礎」を開講している。
- ・総合的な学習の時間「マイライフ」をとおして自己の生き方を考えることができる。
- ・第1・第3土曜日にはオープスタディ（希望制講座）を実施している。
- ・心の悩みに対応する、定期的な専門家の来校、校内相談体制が確立している。
- ・ボランティア単位を認定するボランティアパスポート制度がある。
- ・校舎が新築され、快適で環境のよい教室、自習室、整った近代設備のもとで勉強ができる。

2. 志願してほしい生徒像

豊かな人間性と社会性を備え、何事にも向上心と強い意志を持って挑戦しようとする者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科	30%以内
理数科	40%以内

(2) 出願の条件

普通科 学習意欲と知的探究心に溢れ、規範意識を持ち、意欲的な生活を送る者のうち、次のいずれかに該当すること。

ア 学習成績が優秀な者で、課外活動や学校行事に積極的に参加した者。

イ 学習成績が優良な者で、部活動、スポーツ・芸術活動で優れた能力を発揮し、県レベルの大会以上で中心となり活躍し、個人または団体に優秀な成績を有する者。

ウ 学習成績が優良な者で、生徒会活動、ボランティア活動、英語検定、漢字検定、数学検定などで顕著な実績を有する者。

理数科 旺盛な知的探究心と高い志を持ち、新時代を拓く「夢」の実現に向かって努力する、人間性豊かな者のうち、次の両方に該当する者。

ア 学習成績が極めて優秀な者で、課外活動や学校行事に積極的に参加した者。

イ 勉学に強い関心を持ち、向上心旺盛な者。

(3) 面接

普通科

実施のねらい	実施形態等	検査時間
高校生活への意欲、目的意識、興味・関心、学習意欲、中学校における基礎・基本の定着を確認する。	個別面接 (志願者が多い場合、集団面接に変わることもある)	7分程度 (集団面接の場合は20分程度)

理数科

実施のねらい	実施形態等	検査時間
高校生活への意欲、目的意識、興味・関心、学習意欲、中学校における基礎・基本の定着を確認する。 さらに柔軟な発想力、発表能力も確認する。	個別面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	実施内容
作文	普通科 時間：50分 字数：600字以内 理数科 時間：50分 字数：800字以内
特技	普通科 実績や資格を証明できる資料による書類審査

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	備考
普通科条件ア	50	20	30	—	前期募集人員の3分の1以内
普通科条件イ	50	20	10	20	
普通科条件ウ	50	20	10	20	
理数科	40	40	20	—	

※調査書の「学習の記録」については、第1学年から第3学年までの成績評定を対象とする。

(6) その他

普通科の条件イまたはウで志願する生徒は、実績や資格を証明できる資料〔賞状・合格証書・新聞記事・スコアブックなど〕のコピー（A4サイズ）を出願時に提出する。

4. その他

山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）

剣道女子、スケート、ハンドボール女子、バスケットボール男子
バスケットボール女子、ヨット、弓道女子、ウェイトリフティング

山梨県立富士北稜高等学校

1. 教育方針

校訓「明日を拓き 未来を創る」

自分らしさと未来を育て、豊かな人間性を養い、社会に貢献できる人材を育てる

2. 志願してほしい生徒像

- ・本校で学ぶことの意義や価値・目的について深く考え、本校で開講する多くの科目の学習や諸活動を通して、各種資格取得を目指すなど、自己の進路選択に向けて、自分の力と可能性を見出し、未来への道を切り拓こうとする強い意欲を持つ者。そのための努力ができる者。
- ・勉学に精励するとともに、文化活動や体育活動、人間生活や社会のあり方に目を向け、豊かな人間を目指すことができる者。そのために、部活動をはじめとする学校内の諸活動や、奉仕活動等校外の社会的活動に、意欲的に取り組める者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

総合学科 30%以内

(2) 出願の条件

次のア～ウの全てを満たす者

- ア 総合学科である本校を志望する動機や理由が明白・適切である者。
- イ 中学校における学習および生活状況がともに優良な者。
- ウ 個性表現の中で、次のA～Fのいずれかの分野での自己表現が可能な者。

分 野		内 容 と 実 績
A	感 性	美術・音楽・書道などの得意分野を生かして実技や作品を披露し、その内容の説明や、そこから得たものなどを説明することで自己を表現する。
B	言 語	創作発表・研究発表・体験発表など主に言語を用いた発表を行い、そこから得たことなどを説明することで自己を表現する。
C	スポーツ活動	「小中学校体育連盟」等の主催する県大会以上の競技会において、8位以内の成績をあげた者（団体競技にあつては中心選手として活躍した者）が、その活動内容の説明や活動から得たものなどを発表することで自己を表現する。
D	文化活動	文化・芸術分野の県以上の大会において、入賞あるいはそれに準ずる成績をあげた者（団体活動にあつては中心となって活動した者）、あるいは読書感想文コンクール・自由研究発表コンクール・英語スピーチコンテスト等の県以上の大会で入賞あるいはこれに準ずる成績をあげた者が、その活動内容の説明や活動から得たものなどを発表することで自己を表現する。
E	社会活動	市町村単位以上の組織・団体の中で、ボランティア活動等を継続的に行い、その活動の実績を証明できる者が、その活動内容の説明や活動から得たものなどを発表することで自己を表現する。
F	その他の活動	日本英語検定協会所管「実用英語技能検定3級」、または、日本漢字能力検定協会所管「日本漢字能力検定準2級」以上の資格を有する者、あるいは個人として卓越した能力（上記2種以外の各種資格等を含む。）を有し、それを証明できる客観的な資料等を提示できる者が、その活動内容の説明や活動から得たものなどを発表することで自己を表現する。

(3) 面 接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
志望動機・基礎学力・問題意識能力・社会性などを審査する。	個別面接	10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
個性表現	検査時間は10分程度。 ただし、発表については準備時間（2分以内）を含め5分間とする。 出願の条件のウによるA～Fのいずれかの分野で発表された自己表現をもとに、学力には表れない志願者の意欲や個性・特性を審査する。

(5) 選抜資料比重

区 分	調査書	面 接	個性表現
総合学科	60	25	15

※調査書の学習の記録については第1学年から第3学年までを評価の対象とし、特別活動を含めた中学校での生活状況や出席状況の良好な者は高く評価する。

なお、出席状況については遅刻・早退の状況も把握したいので、「出席状況申告書」を提出すること。

(6) その他

本校で作成する「平成20年度前期募集選抜要項」、「出席状況申告書」および個性表現の内容・準備品および音の有無等の確認のために提出する「個性表現検査申請書」は、平成19年10月10日(水)実施予定の本校入試説明会にて配付するほか、PDFファイルとして本校ホームページからもダウンロードが可能である。

4. その他

本校における、平成19年度強化指定の部活動は以下の5つである。

弓道部、自転車部、ボート部、ヨット部、アイスホッケー部

山梨県立富士河口湖高等学校

1. 教育方針

校訓である「仰峰不屈」の精神を持った、心のゆたかな人間を育てることを本校教育の基本とし、次の事項を教育方針として掲げている。

- (1) 知徳体にバランスのとれた生徒の育成を図るため、真の「文武両道」を推進する。
- (2) 進路に対する自己実現を図るため、基礎学力の定着を目指し、健全な職業観を育成する。
- (3) 国際社会で活躍できる人材を育成するため、富士山の麓の観光地としての立地条件を生かし、積極的な国際交流を展開する。
- (4) 他人を思いやる心や自律心の育成を図るため、ボランティア等の体験活動を通して、医療・福祉等への関心を高めさせる。

2. 志願してほしい生徒像

本校の教育方針を理解し、学習意欲が旺盛で、大学等の上級学校への明確な進路希望を有し、自己実現に向けて努力することができる者であり、次のいずれかに掲げる者。

- (1) 国語や英語等の語学・社会系の領域、または数学や理科等の理数系の領域に卓越した能力を有し、学ぼうとする強い意欲を持っている者。
- (2) 中学校で学んだ各教科の基礎・基本を身に付けており、体育活動や文化活動において顕著な実績を上げ、入学後も学業との両立が図れる者。
- (3) 中学校で学んだ各教科の基礎・基本を身に付けており、社会活動において顕著な実績を上げ、入学後も学業との両立が図れる者。

また、英数コース志願者については、上記項目のいずれかに該当し、さらに以下の項目に該当する者。

(英数コース)

学習活動の成績が優秀で、高い学習意欲を有し、継続して勉学に励むことができる者。

3. 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 30%以内

(2) 出願の条件

普通科 次のいずれかに該当するもの。

- ① 中学校での基礎学力を確実に身に付けており、入学後も学習への努力を継続する者。
- ② 体育活動において、指定選手である者、または、本校部活動に該当する種目において、「小中学校体育連盟」の主催する県大会において4位以内の成績をあげ、かつ団体競技においてはチームの中心となり活躍した者。
文化活動において、県規模の主催する大会で、優秀の成績（金賞等）をあげ、かつ団体で競う大会では中心となり活躍した者。
- ③ 体育活動、文化活動において、本校部活動に該当する活動に熱心に取り組み、中心となり活躍した者。

本校部活動	体育局	野球・ラグビー・バスケットボール・バレーボール・ソフトテニス 卓球・漕艇・サッカー・剣道・柔道・陸上・スケート・ソフトボール カヌー（弓道同好会）
	文化局	英会話・音楽・放送・吹奏楽・美術・文芸・茶道・写真・自然科学・社会科学

④ 体育・文化・芸術等の分野で、校外においても、個人として卓越した能力を有し、それを証明できる資料等が提示できる者。

⑤ (財)日本英語検定協会所管・実用英語技能検定において、準2級以上の資格を有する者。(財)日本漢字能力検定協会所管・日本漢字能力検定等において2級以上の資格を有する者。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
学習の基礎・基本を身に付けており、本校を志願する動機、学習意欲、将来の目標が明確であることを確認する。	個別面接	15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分間 字数：600字 全受検生
特技	実績証明等による書類審査 出願条件の②④⑤

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技
条件①	50	20	30	—
条件②	50	20	15	15
条件③	50	20	30	—
条件④	50	20	15	15
条件⑤	50	20	15	15

※調査書の学習の記録については、中学校1学年から3学年の評定を評価対象とする。

(6) その他

※普通科と英数コースの選抜は、普通科の合格者を決定し、その後、コース希望者を独自の選考基準(調査書の教科の評定のうち英語と数学の評定を2倍にして傾斜を付ける。)に基づき指定する。

※提出書類のうち、「特技選択書」の入手については、本校ホームページの(平成20年度入試)からダウンロードできる。不明な点は、本校教務係(0555-73-2511)まで問い合わせをする。

4. その他

平成19年度山梨県高等学校運動部強化指定の部

「ソフトテニス女子」、「卓球女子」、「漕艇男女」、「剣道男子」

甲府市立甲府商業高等学校

1. 教育方針

本校は以下の三項目を目標に掲げ、心身ともに健全な人格形成を目指しています。

- 1 基本的生活習慣の確立
- 2 学力の向上と高資格取得
- 3 部活動の強化・推進

学校の特徴

(資格検定取得)

本校生の検定合格率は県下はもとより全国的にも高いレベルにあります。近年各種資格（電卓珠算・簿記・ワープロ・情報処理・英語・商業経済）を取得することにより、就職はもちろんのこと、大学・短大進学のおすすめ基準になる割合が増加しています。資格取得に向けた課外授業も積極的に展開しています。

(部活動の実績)

部活動については体育局16・文化局17の各部が多彩な活動を行っています。体育局の活動は特に盛んで、女子は県総合体育大会において4年連続15回目の優勝を飾り、男子についても総合6位という成績を残しています。さらに野球部においては春季山梨県大会において優勝を果たし、関東大会への出場権を得ました。またバドミントン・剣道・卓球・ソフトテニス・サッカー・弓道・バレーボール・バスケットボール・ハンドボール・陸上競技・ソフトボール・水泳部等の活躍もめざましいものがあります。

文化局においても、商業実務競技大会や英語スピーチコンテスト等で優勝し全国大会に出場しています。また吹奏楽部は関東大会出場常連として高い評価を受け、ソングリーダー部も芸術文化祭全国大会への連続出場を果たしています。

2. 志願してほしい生徒像

中学校における学習・行動が良好であり、また生徒会活動や部活動等にも積極的に取り組む姿勢がみられ、明確な目的意識をもち、本校の特色ある学校づくりに貢献でき、次のいずれかに該当する生徒

「商業科」

将来、ビジネスの世界で活躍できる経営者やビジネスマンになることを目標とし、流通経済や簿記会計を中心に、情報処理やOA技術など幅広い分野の学習に積極的に取り組む意欲をもち、ビジネスや経営の学習について興味・関心のある生徒

「国際科」

商業分野の学習と英語力の向上を中心に、高いコミュニケーション能力や国際感覚をもった人材になることを目標とし、語学研修などを通じて海外の経済事情や文化の学習に積極的に取り組む意欲をもち、国際理解、海外留学、英語の学習について興味・関心のある生徒

「情報処理科」

高度情報化社会に対応できる情報処理の専門性を深めた人材になることを目標とし、コンピュータの役割・機能やその利用に関する知識と技術を学ぶとともに、プログラミング・ハードウェア・ソフトウェア等の理論の学習に積極的に取り組む意欲をもち、インターネットの利用などパソコンを使った経営情報の学習について興味・関心のある生徒

3. 前期募集選抜方法

(1) 入学定員に対する前期募集率

商業科	50%以内
国際科	50%以内
情報処理科	50%以内

(2) 出願の条件（次のいずれかに該当する生徒・各学科共通）

条件Ⅰ 基礎・基本的な学力が身につけており、自己実現のため積極的に資格取得や日常の学習に取り組む意欲がある生徒

条件Ⅱ 体育的活動又は文化的活動において優れた能力と適性を有し、入学後も継続して活動する意志を有する生徒

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校及び本学科へ志望する動機と興味・関心・意欲、また人物などを総合的に評価する。	集団面接	20分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
作文	時間：50分 字数：600字
個性表現	<p>体育的活動又は文化的活動</p> <p>○体育的活動又は文化的活動を表現する受検生で表現用具を必要とする場合は持参すること。</p> <p>○表現時間は準備時間を含めて1人5分以内とする。</p>

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	個性表現
条件Ⅰ	60	20	20	—
条件Ⅱ	50	20	—	30

*調査書における学習の記録については第3学年の必修9教科の評定を評価の対象とする。

(6) その他

- ・出願の条件Ⅱを選択した生徒は個性表現申請用紙を提出する。なお、個性表現申請用紙は出願初日1か月前より本校事務室にて配付予定であり、本校ホームページからもダウンロードが可能である。

4. その他

- ・山梨県高等学校運動部強化指定（平成19年度）
バドミントン（男・女）、卓球（男・女）、剣道（女子）、ソフトテニス（女子）、サッカー（女子）、バレーボール（女子）

選抜方法等一覧の見方

平成20年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

番号	内容 学校名	① 募集率		③ 選抜資料比重						④ ⑤ 調査書の「学習の記録」の取り扱い		
		学科	比率(%)	選抜区分	調査書	面接	作文	特技	個性表現	備考	④ 評定の傾斜倍率 (空欄は全教科1.0倍)	⑤ 対象学年
1	A高校	普通科	30	普通科	30	30	40	-	-		5教科の評定1.5倍 5教科の評定2倍	第3学年
		理数科	30	理数科	30	30	40	-	-			
		総合学科	40	総合学科	30	40	30	-	-			
2	B高校	普通科	30	普通科	40	30	30	-	-		普通科は5教科の評定1.2倍 文理科は国・数・英3倍、社・理2倍	第3学年
		文理科	40	文理科								
3	C高校	全学科	40	A	50	30	20	-	-			第3学年
				B-ア	30	30	10	15	15			
				B-イ	30	30	10	-	30			
				C-ア	30	30	10	15	15			
				C-イ	30	30	10	-	30			
				D	30	30	10	-	30			
4	D高校	普通科	30	A	70	20	10	-	-		5教科の評定2倍	第3学年
				B	60	20	10	10	-			
		英語科	40	英語科	70	15	15	-	-			
5	E高校	普通科	30	A	60	20	20	-	-		5教科の評定2倍	第1～3学年
				B	50	20	-	30	-			
6	F高校	普通科	30	1	70	10	20	-	-		5教科の評定1.8倍	第3学年
		理数科	30	2	70	10	10	10	-			

注) ① 平成20年度募集定員に対する前期募集人員の比率を示しています。

A高校の理数科の定員が35人だとすると、 $35人 \times 30\% = 10.5$ で、前期募集人員は10人になります。なお、平成20年度募集定員は11月上旬に発表する予定です。

② 調査書には、各教科の学習の記録、欠席の記録、健康の記録、行動の記録など中学校3年間の活動の全てが記録されています。前期募集は各高校が定める選抜資料比重に基づき、様々な尺度で評価されます。

なお、調査書の「学習の記録」の取り扱いについては、④・⑤を参照してください。

③ 各高校で実施する検査内容とその比重を示しており、合計は100%になります。

④ 調査書の評定の取り扱いを示しています。

「5教科の評定1.5倍」という場合は、国語・数学・英語・社会・理科の評定を1.5倍し、それ以外の教科は1倍するということです。

⑤ 調査書の評定の対象学年を示しています。

「第1～3学年」という場合は、中学校3年間の全ての評定が取り扱いの対象となります。

平成20年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

番号	学校名	内容	募集率		面接		作文		特 技	個性表現	選 抜 資 料 比 重					調査書の「学習の記録」の取り扱い		
			学科	比率(%)	個別(分)	集団(分)	時間(分)	字数			選抜区分	出願の条件	調査書	面接	作文	特技	個性表現	備 考
1	北杜	普通科	30	-	40程度	50	600	普通科	30	30	40	-	-	-	-	-	5教科の評定1.5倍	3
		理数科	40	40程度														
2	藤崎	普通科	30	10程度	-	50	600	普通科	40	30	30	-	-	-	-	-	5教科の評定1.2倍	3
		文理科	40	10程度	-	50	600	文理科	40	30	30	-	-	-	-	国・数・英の評定3倍、社・理の評定2倍		
3	藤崎工業	全学科	40	15程度	10程度	30	400以内	実績を証明する資料等による書類審査	実技披露・発表(5分程度)	A	50	30	20	-	-	6人程度	5教科の評定2倍	3
								B-ア		30	30	10	15	15				
4	甲府第一	普通科	30	20程度	-	60	800	実績証明書による書類審査	A	70	20	10	-	-	5教科の評定2倍	3		
		英語科	40	20程度	-	60	800	英語科	70	15	15	-	-					
5	甲府西	普通科	30	15程度	(30程度)	60	800以内	実績証明書等による書類審査	A	60	20	20	-	-	5教科の評定2倍	第1～3学年		
		理数科	30	15程度	(20程度)	60	600程度	理数科	40	30	-	30	-					
6	甲府南	普通科	30	10程度	(20程度)	60	600程度	活動実績報告書等による書類審査	1	70	15	15	-	-	5教科の評定1.8倍	3		
		理数科	30	10程度	(20程度)	60	600程度	理数科	60	15	15	10	-					
7	甲府東	普通科	30	15程度	(20程度)	50	600	活動実績報告書等による書類審査	1	70	20	10	-	-	前期募集人員の10%程度	5教科の評定2倍	3	
								2	50	40	10	-	-					
8	甲府工業	全学科	50	15程度	(20程度)	40	400	実績を証明する資料等による書類審査	実技披露・発表(5分程度)	A	50	30	20	-	-	前期募集人員の4割程度	5教科の評定2倍	3
								B	40	30	-	10	20					
9	甲府城西	総合学科	40	10程度	(15程度)	-	-	実績を証明する資料による書類審査	実技披露・発表(10分程度)	B-ア	50	30	-	20	-	5教科の評定2倍	3	
								C	50	30	-	-	20					
10	甲府昭和	普通科	30	10～15程度	(20～25程度)	50	600	実績を証明する資料による書類審査	実技披露・発表(10分程度)	D-ア	50	30	-	20	-	5教科の評定1.5倍	3	
								D-イ	50	30	-	-	20					
11	農林	全学科	50	15程度	15程度	40	400以上～600以内	実績証明書等による書類審査	後継者に関する計画書に基づいたプレゼンテーション(10分以内)	A	40	40	20	-	-	5教科の評定2倍	3	
								B	30	40	10	-	20					
12	巨摩	普通科	30	10程度	-	50	600程度	実績証明書による書類審査	1	60	30	10	-	-	5教科の評定2倍	3		
								2	40	20	10	30	-					
13	白根	普通科	30	10程度	-	50	600程度	独自書類等による書類審査	1	60	30	10	-	-	比重大	5教科の評定2倍	3	
								2	40	20	10	30	-					
14	壺橋商業	商業科	40	10程度	-	30	400程度	実績証明書等による書類審査	1	60	30	10	-	-	5教科の評定2倍	3		
		情報処理科	40	10程度	-	30	400程度	情報処理科	40	30	10	-	-					
15	市川	普通科	30	10程度	-	50	600以内	実績証明書等による書類審査	A	50	30	20	-	-	前期募集人員の2/3程度	5教科の評定2倍	3	
		英語科	40	10程度	-	50	600以内	英語科	50	30	20	-	-					
16	峡南	電子機械科	40	15程度	-	30	400	活動実績報告書等による書類審査	電子機械科:簡単な金属板の加工(50分)	A	40	30	10	-	20	前期募集人員の1/3程度	5教科の評定2倍	3
		建築インテリア科	40	15程度	-	30	400	建築インテリア科:建築インテリアコース:木材の組立と作図(50分)	B	30	40	10	-	20				
17	身延	普通科	30	15程度	-	40	350～400	実績証明書による書類審査	1	60	30	10	-	-	前期募集人員の2/3程度	5教科の評定2倍	3	
		理数科	40	15程度	-	40	350～400	理数科	40	30	30	25	-					
18	石和	普通科	30	15程度	-	-	-	実績証明書等による書類審査	A	40	60	-	-	-	前期募集人員の1/3程度	5教科の評定2倍	第1～3学年	
		国際教養科	40	15程度	-	-	-	国際教養科	40	60	-	-	-					
19	山梨園芸	全学科	50	15程度	-	50	600	実績証明書等による書類審査	将来のプランに基づいたプレゼンテーション(10分程度)	イの1	30	20	20	-	30	前期募集人員の2/3程度	5教科の評定2倍	3
								イの2	30	20	20	30	-					
20	日川	普通科	30	20程度	-	50	600	実績証明資料による書類審査及び実績確認	実技披露・発表(7分以内・質問8分)	A	60	20	20	-	-	前期募集人員の1/3程度	9教科のうち評定の高い上位3教科の評定2倍	第1～3学年
								B-イ	30	20	-	50	-					
21	山梨	普通科	30	-	20程度	40	400	ポートフォリオ(部活動、「生徒会及び学級活動」、「資格・検定・技能」)を評価	A	70	20	10	-	-	前期募集人員の1/3程度	9教科のうち評定の高い上位3教科の評定2倍	3	
								B	40	20	10	30	-					
22	壺山	普通科	30	-	15程度	40	400	実績証明書等による書類審査	A	60	20	20	-	-	前期募集人員の1/3程度	5教科の評定2倍	3	
		商業系三科	50	-	15程度	40	400	商業系三科	40	30	30	-	-					
23	都留	普通科	30	7程度	(20程度)	60	800程度	提出書類の個別確認審査	1	30	20	50	-	-	作文は2種類	5教科の評定2倍	3	
								2	30	20	30	20	-					
24	上野原	普通科	30	15程度	-	50	300程度	実績証明書による書類審査	A	30	20	20	30	-	前期募集人員の1/3程度	5教科の評定2倍	3	
		理数科	40	15程度	-	50	300程度	理数科	40	30	30	-	-					
25	谷村工業	全学科	50	10程度(10程度)	-	50	600	調査書の特別活動の記録を特技として点数化	鉛筆デッサン等(30分)	A-	45	15	20	10	10	チサイコース	5教科の評定2倍	3
								B	35	35	20	10	-					
26	桂	普通科	30	10程度	-	50	600	実績証明書等による書類審査	1	50	15	25	10	-	前期募集人員の1/3以内	5教科の評定2倍	第1～3学年	
		文理科	40	15程度	-	50	600	文理科	50	15	25	10	-					
27	吉田	普通科	30	7程度	(20程度)	50	600以内	実績を証明する資料による書類審査	A	50	20	30	-	-	前期募集人員の1/3以内	5教科の評定2倍	第1～3学年	
		理数科	40	7程度	(20程度)	50	600以内	理数科	40	20	30	-	-					
28	富士北陵	普通科	30	10程度	-	-	-	自己表現(10分程度・ただし発表5分)	1	60	25	-	-	15	前期募集人員の1/3以内	5教科の評定2倍	第1～3学年	
		総合学科	30	10程度	-	-	-	総合学科	60	25	-	-	15					
29	富士河口湖	普通科	30	15程度	-	50	600	実績証明書等による書類審査	1	50	20	30	-	-	前期募集人員の1/3以内	5教科の評定2倍	第1～3学年	
								2	50	20	15	15	-					
30	甲府商業	全学科	50	-	20程度	50	600	実績証明書等による書類審査	1	60	20	20	-	-	前期募集人員の1/3以内	5教科の評定2倍	第1～3学年	
								2	60	20	15	15	-					

注1) 面接の「個別」欄の() 書きは、対象者のみを実施する面接時間です。
 注2) 面接の「集団」欄の() 書きは、志願者数により集団面接に変更した場合の時間です。
 注3) 「作文」欄の() 書きは、作文2を選択した場合の内容です。
 注4) 「出願の条件」の具体的な内容は、冊子の該当ページで確認してください。
 注5) 調査書の「学習の記録」の取り扱い欄が空欄の高校は、全教科1.0倍です。

【普通科のコース指定について】
 普通科に設置されているコースへの指定は、まず普通科の合格者を決定した後、コースを希望する者を対象として、右の比重に基づき指定します。ただし、甲府東高校の理数コース、白根高校の理数コースでは、普通科とは別枠でコース希望者を選抜します。

学校名	コース	普通科	理数科	英語科	国際教養科	個性表現	備 考
甲府東	理数コース	60	30	10	-	-	5教科の評定2倍
巨摩	理数コース	60	30	10	-	-	5教科の評定2倍
白根	国際教養科	60	30	10	-	-	比重大・Bを適用
山梨	英語総合コース	70	20	10	-	-	9教科のうち評定の高い上位3教科の評定2倍
壺山	英語コース	80	10	10	-	-	5教科の評定2倍
富士河口湖	英数コース	50	20	30	-	-	英・数の評定2倍

前期募集における独自様式一覧

番号	内容		区分	前期募集 独自様式
	学校名			
1	北 社	普通科 理数科 総合学科		
2	韭 崎	普通科 文理科		
3	韭 崎 工業	全学科	A	特技・個性表現受検申請書
			B-ア	
			B-イ	
			C-ア	
			C-イ	
			D	
4	甲 府 第一	普通科	A	普通科条件B記入用紙
		英語科	B	
5	甲 府 西	普通科	A B	
6	甲 府 南	普通科	1	
		理数科	2	活動実績報告書
7	甲 府 東	普通科	1	活動実績報告書
			2	
			3	
			理数コース	
8	甲 府 工業	全学科	A	志願票
			B	
9	甲 府 城西	総合学科	A	検査項目申請書
			B-ア	
			B-イ	
			C	
			D-ア	
			D-イ	
10	甲 府 昭和	普通科	A	
			B	
11	農 林	全学科	A	条件の選択の記入用紙（全員） 後継者（技術者）に関する計画書（該当者）
			B	
			C-ア	
			C-イ	
12	巨 摩	普通科	1	
			2	
			3	
			理数コース	
13	白 根	普通科	①	実績報告書 実績証明書（該当者）
			②	
			③	
14	増穂商業	全学科		
15	市 川	普通科	A	活動実績証明書
		英語科	B	
16	峡 南	電子機械化	ア	活動実績報告書 中学校長による証明書（該当者）
		建築インテリア科	イ	
		土木科	ウ	
			ア	
		情報ビジネス科	イ	
			ウ	活動実績報告書 中学校長による実績証明書（該当者）

番号	内容		区分	前期募集 独自様式	
	学校名				
17	身 延	普通科	A	実績証明書（該当者）	
		理数科	B		
18	石 和	普通科	ア	実績証明書	
			イ		
			ウ		
		国際教養科	ア		実績証明書
			イ		
			ウ		
			エ		
			オ		
19	山 梨 園 芸	全学科	ア	農業プラン計画書	
			イの1		
			イの2		
			イの3	特技実績証明書	
20	日 川	普通科	A	検査方法申請書 運動に関する記録の証明書（該当者）	
			B-ア		
			B-イ		
21	山 梨	普通科	A	ポートフォリオ（全員） 実績等証明書（該当者）	
			B		
22	塩 山	全学科	ア	実績証明書（該当者）	
			イ		
23	都 留	普通科	①	前期募集検査項目選択申請書	
			②		
			③		
			④のア		
			④のイ		
			⑤		
24	上 野 原	普通科	A	実績証明書	
		理数科	B		
25	谷 村 工業	全学科	A-①		
			A-②		
			B		
26	桂	普通科	1	特技の申告書	
		文理科	2		
27	吉 田	普通科	ア		
			イ		
			ウ		
			理数科		
28	富士北稜	総合学科		個性表現検査申請書、出席状況申告書	
29	富士河口湖	普通科	①	特技選択書	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
30	甲 府 商業	全学科	I	個性表現申請用紙	
			II		

平成19年度山梨県公立高等学校学校説明会等一覧

平成19年6月15日現在

高校名	学科等	オープンスクール 学校説明会	学校説明会	備考
北杜高校	普通科	8月11日(土) 8月18日(土)	5月31日(木)、10月中旬 (教員対象)	
	理数科			
	総合学科			
韭崎高校	普通科		7月14日(土)	
	文理科			
韭崎工業高校	全学科一括	7月24日(火) 8月7日(火) 8月11日(土) 8月21日(火)	8月1日(水) 10月20日(土)	
甲府第一高校	普通科	8月6日(月)	7月16日(月) 9月13日(木)教員	
	英語科			
甲府西高校	普通科	8月22日(水) 8月23日(木)	7月21日(土)	7月7日(土) 学園祭2日目で紹介
甲府南高校	普通科	6月24日(日)	9月23日(日) 9月29日(土)	
	理数科			
甲府東高校	普通科	9月1日(土)	7月6日(金)教員 7月22日(日)	8月7日(火)・8日(水) わくわく英数教室
甲府工業高校	機械科	9月1日(土)	6月15日(金)教員	
	電気科			
	電子科			
	土木科			
	建築科			
甲府城西高校	総合学科	8月11日(土)	10月下旬(教員対象)	8月20日(月)部活動公開練習会
甲府昭和高校	普通科	8月18日(土)	8月4日(土) 8月11日(土)	7月1日(日)学園祭2日目(一般公開) 進学相談コーナー開設
農林高校	システム園芸科	8月11日(土)		
	森林科学科			
	環境土木科			
	造園緑地科			
	食品科学科			
巨摩高校	普通科	8月25日(土)	7月1日(日)	
白根高校	普通科		7月7日(土)	9月1日(土)模擬授業
増穂商業高校	商業科	7月23日(月)		10月30日(火)授業公開
	情報処理科			
市川高校	普通科	7月7日(土)	11月2日(金)教員	6月8日(金)教員懇談会
	英語科			
峡南高校	電子機械科	8月20日(月)		
	建築インテリア科			
	土木科			
	情報ビジネス科			
身延高校	普通科	8月4日(土)		
	理数科			
石和高校	普通科		8月19日(日)	6月29日(金)・30日(土)公開授業 9月9日(日)・10日(月)公開授業
	国際教養科			
山梨園芸高校	園芸科	8月26日(日)		
	農業土木科			
	食品化学科			
日川高校	普通科	8月18日(土)	9月18日(火)教員 9月22日(土)	
山梨高校	普通科		7月7日(土)	8月25日(土)体験授業 10月26日(金)公開授業
塩山高校	普通科	6月30日(土)		
	商業科			
	情報システム科			
	国際経済科			
都留高校	普通科	8月25日(土)	11月17日(土)	6月18日(月)・11月5日(月)教員
上野原高校	普通科	10月13日(土)	8月26日(日) 11月17日(土)	
	理数科			
谷村工業高校	機械システム科	8月7日(火)	9月12日(水)教員	
	電子情報科			
	化学デザイン科			
	建設科			
桂高校	普通科	8月26日(日)	11月24日(土)	
	文理科			
吉田高校	普通科	8月25日(土)		
	理数科			
富士北稜高校	総合学科	8月10日(金)	10月10日(水)	
富士河口湖高校	普通科	8月25日(土)		
甲府商業高校	商業科	8月17日(金) 8月18日(土)	10月9日(火)教員	
	国際科			
	情報処理科			

公立高等学校一覽

学 校 名	電 話	FAX	郵便番号	学校所在地
北 杜 高 等 学 校	0551-20-4025	0551-32-3194	408-0023	北杜市長坂町渋沢1007-19
韮 崎 高 等 学 校	0551-22-2415	0551-22-2708	407-0015	韮崎市若宮3-2-1
韮崎工業高等学校	0551-22-1531	0551-22-1533	407-0031	韮崎市竜岡町若尾新田50-1
甲府第一高等学校	055-253-3525	055-253-3527	400-0007	甲府市美咲2-13-44
甲府西高等学校	055-228-5161	055-228-5161	400-0064	甲府市下飯田4-1-1
甲府南高等学校	055-241-3191	055-241-3145	400-0854	甲府市中小河原町222
甲府東高等学校	055-237-6931	055-237-0686	400-0805	甲府市酒折1-17-1
甲府工業高等学校	055-252-4896	055-251-3385	400-0026	甲府市塩部2-7-1
甲府城西高等学校	055-223-3101	055-223-3103	400-0064	甲府市下飯田1-9-1
甲府昭和高等学校	055-275-6177	055-275-2594	409-3866	昭和町西条3000
農 林 高 等 学 校	055-276-2611	055-279-1413	400-0117	甲斐市西八幡4533
巨 摩 高 等 学 校	055-282-1163	055-282-1104	400-0306	南アルプス市小笠原1500-2
白 根 高 等 学 校	055-284-3031	055-284-3033	400-0211	南アルプス市上今諏訪1180
増穂商業高等学校	0556-22-3185	0556-22-3161	400-0502	増穂町最勝寺1372
市 川 高 等 学 校	055-272-1161	055-272-1164	409-3601	市川三郷町市川大門1733-2
峡 南 高 等 学 校	0556-37-0686	0556-37-0213	409-3117	身延町三沢2417
身 延 高 等 学 校	0556-62-1045	0556-62-1047	409-2531	身延町梅平1201-2
石 和 高 等 学 校	055-262-2135	055-262-6381	406-0031	笛吹市石和町市部3
山梨園芸高等学校	055-262-4135	055-262-8205	406-0026	笛吹市石和町中川1400
日 川 高 等 学 校	0553-22-2321	0553-22-7121	405-0025	山梨市一町田中1062
山 梨 高 等 学 校	0553-22-1621	0553-22-1623	405-0018	山梨市上神内川194
塩 山 高 等 学 校	0553-33-2542	0553-33-7584	404-0047	甲州市塩山三日市場440-1
都 留 高 等 学 校	0554-22-3125	0554-22-0902	401-0013	大月市大月2-11-20
上野原高等学校	0554-62-4510	0554-62-4558	409-0113	上野原市八ツ沢555
谷村工業高等学校	0554-43-2101	0554-43-5056	402-0053	都留市上谷5-7-1
桂 高 等 学 校	0554-43-4375	0554-43-4377	402-0005	都留市四日市場909
吉 田 高 等 学 校	0555-22-2540	0555-22-2542	403-0004	富士吉田市下吉田2075-2
富士北稜高等学校	0555-22-4161	0555-30-0173	403-0017	富士吉田市新西原1-23-1
富士河口湖高等学校	0555-73-2511	0555-73-2513	401-0301	富士河口湖町船津6663-1
甲府商業高等学校	055-241-7511	055-241-7512	400-0845	甲府市上今井町300

問い合わせ先 山梨県教育委員会

新しい学校づくり
推進室制度担当

TEL (055) 223-1767番 (直通)
(055) 237-1111番 内線8306、8309

高校教育課
指導担当

TEL (055) 223-1763番 (直通)
(055) 237-1111番 内線8314、8305

FAX (055) 223-1768番